

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|--------------------------|----------------|--------|--|-----|---|---|---|---|-------------------------|---|---|--|---|-------------------------------|---|---|--|--|------|------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 1 | わくわく福祉交流フェア事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | イベント | ○事業開始年度 平成24年度 【概要】子ども、高齢者、障害者、ボランティアをはじめ、多くの市民や福祉施設、福祉関係団体等の参加のもとに、多彩な催しを通して相互交流するなかで、ボランティア活動や福祉交流を広げることが目的に、中央公園等で開催する。 【対象者】わくわく福祉交流フェア実行委員会 【具体的な活動内容】 ・ステージイベント(ミニコンサート等)、体験発表、バザー、模擬店、パネル展示コーナー、ふれあい広場、天文館コーナー等 | 国補助 | [概算コスト] 14,161 (内訳) ・決算額 8,274 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 13,709 (内訳) ・決算額 7,877 ・人件費 5,887 (0.75人) | [概算コスト] 14,149 (内訳) ・決算額 8,343 ・人件費 5,832 (0.75人) | [概算コスト] 14,149 (内訳) ・決算額 8,343 ・人件費 5,806 (0.75人) | 各種コーナー及びイベント数 (単位:件) | [目標値] 30 [実績値] 29 <達成率> 96.7% | [目標値] 28 [実績値] 33 <達成率> 117.9% | [目標値] 30 [実績値] 33 <達成率> 117.9% | [目標値] 30 [実績値] 33 <達成率> 117.9% | 来場者数 (単位:人) | [目標値] 40,000 [実績値] 34,000 <達成率> 85.0% | [目標値] 34,000 [実績値] 29,000 <達成率> 85.3% | [目標値] 29,000 [実績値] 29,000 <達成率> 100.0% | [目標値] 29,000 [実績値] 29,000 <達成率> 100.0% | A | B | 見直し (理由) ボランティア活動や福祉活動を行う市民同士の相互交流と各活動の広報啓発に寄与しているが、来場者数が目標値に比べ少ないことから、さらなる来場者増に向けた取組を検討するとともに、効果を把握できるようなアンケートを実施すべきである。 |
| 2 | 地域福祉推進事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 市民サービス | ○事業開始年度 平成16年度 【概要】地域でお互いに支えあう仕組みを整え、安心して健康に暮らせる地域社会の実現を目指す。 【対象者】地域福祉活動団体、一般市民 【具体的な活動内容】 ・地域福祉館等を拠点とした地域福祉ネットワークの構築 ・地域福祉計画推進委員会運営 ・地域福祉計画地区福祉推進会議運営 ・小地域ネットワーク支えあい補助金 | 国補助 | [概算コスト] 42,224 (内訳) ・決算額 36,995 ・人件費 (0.66人) | [概算コスト] 37,936 (内訳) ・決算額 32,756 ・人件費 5,180 (0.66人) | [概算コスト] 36,861 (内訳) ・決算額 31,729 ・人件費 5,132 (0.66人) | [概算コスト] 37,726 (内訳) ・決算額 32,617 ・人件費 5,109 (0.66人) | 地域福祉支援員年間活動実績 (単位:件) | [目標値] 5,500 [実績値] 5,753 <達成率> 104.6% | [目標値] 6,000 [実績値] 6,452 <達成率> 107.5% | [目標値] 6,500 [実績値] 6,918 <達成率> 106.4% | [目標値] 7,000 [実績値] 6,918 <達成率> 100.0% | 地域福祉ネットワーク登録団体数 (単位:団体) | [目標値] 300 [実績値] 300 <達成率> 100.0% | [目標値] 340 [実績値] 345 <達成率> 101.5% | [目標値] 380 [実績値] 374 <達成率> 98.4% | [目標値] 420 [実績値] 374 <達成率> 89.0% | A | A | 継続 (理由) 地域における福祉ネットワークの構築と互いに支えあう仕組みづくりに寄与しており、必要な事業である。 |
| 3 | 鹿児島市福祉コミュニティセンター施設改修助成事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成17年度 【概要】昭和54年に建設された福祉コミュニティセンターの老朽化が進んでいることから、施設利用者の安全確保と利便性を高めるため、施設改修に対し補助を実施する。 【対象者】鹿児島市社会福祉協議会 【具体的な活動内容】 ・福祉コミュニティセンターの施設改修に対して補助金を交付する。 | 市単 | [概算コスト] 3,198 (内訳) ・決算額 1,942 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 3,291 (内訳) ・決算額 2,047 ・人件費 1,256 (0.16人) | [概算コスト] 8,306 (内訳) ・決算額 7,067 ・人件費 1,244 (0.16人) | [概算コスト] 8,306 (内訳) ・決算額 7,067 ・人件費 1,239 (0.16人) | 施設改修項目数 (単位:件) | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | [目標値] 3 [実績値] 1 <達成率> 33.3% | [目標値] 3 [実績値] 1 <達成率> 33.3% | 施設利用者数 (単位:人) | [目標値] 81,429 [実績値] 80,935 <達成率> 99.4% | [目標値] 80,935 [実績値] 76,308 <達成率> 94.3% | [目標値] 76,308 [実績値] 79,166 <達成率> 103.7% | [目標値] 79,166 [実績値] 79,166 <達成率> 100.0% | A | A | 継続 (理由) 高齢者や障害者の福祉向上と地域福祉活動の拠点として利用されており、当該団体の自主財源だけでは施設修繕は困難であることから、必要な事業である。 |
| 4 | 市民奉仕活動賠償傷害保険事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | その他 | ○事業開始年度 昭和59年度 【概要】市内で奉仕活動を行う住民団体の参加者が、過失により第三者に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負う場合及び奉仕活動中に負傷した場合にその補償を行う。 【対象者】市内に活動拠点を有し、年間2回以上奉仕活動を行う5人以上で構成される住民団体 【具体的な活動内容】 ・事故発生時の保険金申請手続き、保険会社や各窓口担当課との事務連絡、入札、保険契約等 | 市単 | [概算コスト] 5,634 (内訳) ・決算額 3,653 ・人件費 1,981 (0.25人) | [概算コスト] 4,574 (内訳) ・決算額 2,612 ・人件費 1,962 (0.25人) | [概算コスト] 3,844 (内訳) ・決算額 1,900 ・人件費 1,944 (0.25人) | [概算コスト] 4,712 (内訳) ・決算額 2,777 ・人件費 1,935 (0.25人) | 加入者数 (単位:人) | [目標値] 294,857 [実績値] 330,000 <達成率> 111.9% | [目標値] 330,000 [実績値] 335,562 <達成率> 101.7% | [目標値] 335,562 [実績値] 320,328 <達成率> 95.5% | [目標値] 320,328 [実績値] 320,328 <達成率> 100.0% | 奉仕活動中の事故に対する補償と奉仕活動の推進 | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 安心して奉仕活動に参加できるように奉仕活動中の事故に対する補償を行うことは、奉仕活動の推進及び市民参加によるまちづくりの推進に繋がるため、必要である。 |
| 5 | ボランティア推進校支援事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成19年度 【概要】市社会福祉協議会が運営するボランティアセンターの、小・中・高校の児童・生徒を対象としたボランティア推進校に関する事業に要する経費に対して補助を行う。 【対象者】鹿児島市社会福祉協議会 【具体的な活動内容】 ・ボランティア推進校事業を実施する学校に対する活動助成金及び事務経費に対して補助を行う。 | 市単 | [概算コスト] 4,042 (内訳) ・決算額 3,408 ・人件費 634 (0.08人) | [概算コスト] 4,604 (内訳) ・決算額 3,976 ・人件費 628 (0.08人) | [概算コスト] 4,760 (内訳) ・決算額 4,138 ・人件費 622 (0.08人) | [概算コスト] 5,327 (内訳) ・決算額 4,708 ・人件費 619 (0.08人) | ボランティア推進校実施校数 (単位:校) | [目標値] 100 [実績値] 98 <達成率> 98.0% | [目標値] 110 [実績値] 110 <達成率> 100.0% | [目標値] 125 [実績値] 120 <達成率> 96.0% | [目標値] 135 [実績値] 120 <達成率> 88.9% | ボランティア活動参加者数 (単位:人) | [目標値] 45,979 [実績値] 44,900 <達成率> 97.7% | [目標値] 50,509 [実績値] 49,443 <達成率> 97.9% | [目標値] 58,804 [実績値] 56,458 <達成率> 96.0% | [目標値] 63,339 [実績値] 56,458 <達成率> 89.1% | A | A | 継続 (理由) ボランティア活動に対する理解促進に寄与するなど必要な事業である。なお、未実施校に対し、制度活用の理解を得られるよう、より一層働きかけること。 |
| 6 | 市社会福祉協議会補助事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和48年度 【概要】社会福祉法第109条に基づき、地域福祉を推進することを目的として設置された市社会福祉協議会に対し、人件費等の助成として補助金を交付するものである。 【対象者】鹿児島市社会福祉協議会 【具体的な活動内容】 ・市社会福祉協議会の本部事務職員や各支部職員、コミュニティセンター、ボランティアセンターの職員等の人件費及び事務費を補助する。 | 市単 | [概算コスト] 203,498 (内訳) ・決算額 199,536 ・人件費 3,962 (0.50人) | [概算コスト] 203,070 (内訳) ・決算額 199,145 ・人件費 3,925 (0.50人) | [概算コスト] 204,401 (内訳) ・決算額 200,513 ・人件費 3,888 (0.50人) | [概算コスト] 205,861 (内訳) ・決算額 201,990 ・人件費 3,871 (0.50人) | 補助対象人員 (単位:人) | [目標値] 46 [実績値] 46 <達成率> 100.0% | [目標値] 46 [実績値] 46 <達成率> 100.0% | [目標値] 46 [実績値] 46 <達成率> 100.0% | [目標値] 46 [実績値] 46 <達成率> 100.0% | 市社会福祉協議会総事業費(一般会計) (単位:千円) | [目標値] 1,631,867 [実績値] 1,818,794 <達成率> 111.5% | [目標値] 1,653,840 [実績値] 1,890,803 <達成率> 114.3% | [目標値] 1,651,174 [実績値] 1,583,843 <達成率> 95.9% | [目標値] 1,622,673 [実績値] 1,583,843 <達成率> 97.6% | A | B | 見直し (理由) 地域福祉の中心として様々な役割を担っており必要な事業であるが、運営補助であることから、助成のあり方を検討すべきである。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|---------------------|----------------|--------|--|-----|---|--|---|---|--------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--------------------------------------|--|------------------------|---|--|---|---|------|------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 7 | 社会事業協会補助事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和48年度 【概要】 鹿児島市社会事業協会の本部事務局運営に要する経費の一部を補助し、当該団体の福祉活動を助成するものである。 【対象者】 鹿児島市社会事業協会 【具体的な活動内容】 ・本部事務局の職員費及び事務費を補助する。 | 市単 | [概算コスト] 31,430 (内訳) ・決算額 30,796 ・人件費 634 (0.08人) | [概算コスト] 29,948 (内訳) ・決算額 29,320 ・人件費 628 (0.08人) | [概算コスト] 27,244 (内訳) ・決算額 26,622 ・人件費 622 (0.08人) | [概算コスト] 27,241 (内訳) ・予算額 26,622 ・人件費 619 (0.08人) | 補助対象の人員数 (単位:人) | [目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0% | [目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0% | [目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0% | [目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0% | 市社会事業協会総事業費 (単位:千円) | [目標値] 1,834,274 [実績値] 1,795,294 <達成率> 97.9% | [目標値] 1,839,417 [実績値] 1,952,848 <達成率> 106.2% | [目標値] 2,270,685 [実績値] 2,317,928 <達成率> <達成率> | [目標値] 1,920,776 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | A | A | 継続 (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |
| 8 | 保健福祉総合相談・案内窓口事業 | 健康福祉局 健康総務課 | 市民サービス | ○事業開始年度 平成14年度 【概要】 保健や福祉に関することで相談先の分からない市民や、保健と福祉部門において多岐にわたる問題を抱えた市民のための相談・案内窓口を設置することにより、市民の利便性の向上を図る。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 ・保健及び福祉に関する相談、保健及び福祉に関する情報の提供、健康福祉局内各課等への案内等 ・嘱託員数:8人(常時窓口)に6人配置) | 市単 | [概算コスト] 16,593 (内訳) ・決算額 15,801 ・人件費 792 (0.10人) | [概算コスト] 16,681 (内訳) ・決算額 15,896 ・人件費 785 (0.10人) | [概算コスト] 16,175 (内訳) ・決算額 15,397 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 16,872 (内訳) ・予算額 16,098 ・人件費 774 (0.10人) | 窓口配置者数 (単位:人) | [目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0% | [目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0% | [目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0% | [目標値] 6 [実績値] 6 <達成率> 100.0% | 相談件数 (単位:件) | [目標値] 3,780 [実績値] 4,192 <達成率> 110.9% | [目標値] 3,910 [実績値] 3,995 <達成率> 102.2% | [目標値] 4,020 [実績値] 4,285 <達成率> 106.6% | [目標値] 4,160 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | A | A | 継続 (理由) 相談・案内の窓口としての役割を担っており、市民サービスの向上に寄与していることから、必要な事業である。 |
| 9 | 民生安定資金貸付事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和29年度 【概要】 本市住民で、自立の生活を営むことができない者並びに援護を必要とする母子世帯、身体障害者及び天災による災害に対し、資金の貸付を行う。 【対象者】 生業資金貸付、母子厚生資金貸付、身体障害者更生資金貸付の貸付者 【具体的な活動内容】 ・1世帯の貸付金額 100万円以内 | 市単 | [概算コスト] 1,415 (内訳) ・決算額 464 ・人件費 951 (0.12人) | [概算コスト] 1,480 (内訳) ・決算額 538 ・人件費 942 (0.12人) | [概算コスト] 1,381 (内訳) ・決算額 448 ・人件費 933 (0.12人) | [概算コスト] 1,332 (内訳) ・予算額 403 ・人件費 929 (0.12人) | 相談件数 (単位:件) | [目標値] 34 [実績値] 28 <達成率> 82.4% | [目標値] 34 [実績値] 20 <達成率> 58.8% | [目標値] 34 [実績値] 8 <達成率> 23.5% | [目標値] 34 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | 貸付件数 (単位:件) | [目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | A | F | 廃止 (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |
| 10 | 中国残留邦人等支援事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成20年度 【概要】中国残留邦人等に対し、帰国時に労をねぎらうために見舞金等を支給するとともに、老後の生活の安定、地域での生き生きとした暮らしを実現するための生活支援給付金等の給付や支援・相談員の配置及び日本語の習得など必要な支援を行う。 【対象者】中国残留邦人等の本人及び配偶者 【具体的な活動内容】 ・生活支援給付金等の支給 ・中国語のできる支援・相談員の配置 ・地域社会における生活支援(日本語講座、自立支援通訳の派遣、一日レクリエーションの実施) ・帰国時の見舞金及び就職奨励金の支給 | 国補助 | [概算コスト] 111,012 (内訳) ・決算額 104,357 ・人件費 6,655 (0.84人) | [概算コスト] 104,949 (内訳) ・決算額 98,294 ・人件費 6,655 (0.84人) | [概算コスト] 117,674 (内訳) ・決算額 111,019 ・人件費 6,655 (0.84人) | [概算コスト] 115,194 (内訳) ・予算額 108,539 ・人件費 6,655 (0.84人) | 支援給付世帯数 (単位:世帯) | [目標値] 37 [実績値] 37 <達成率> 100.0% | [目標値] 36 [実績値] 36 <達成率> 100.0% | [目標値] 35 [実績値] 35 <達成率> 100.0% | [目標値] 35 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | 中国残留邦人の生活安定と生活支援に寄与 | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | A | A | 継続 (理由) 中国残留邦人の帰国後の生活の安定と日常生活の支援に寄与しており、必要な事業である。 |
| 11 | 緊急雇用対策離職者支援資金利子補助事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成21年度 【概要】 緊急な雇用情勢の悪化を受け、失業者世帯の再就職までの生活を支援するため、失業者が借り入れた、県社会福祉協議会の生活福祉資金(離職者支援金)の償還利子を助成する。 【対象者】 本市に住所を有し、当該資金の借入申込みを平成21年2月から平成21年7月までに行った者 【具体的な活動内容】 ・本市に住所を有し、平成21年2月1日～7月31日までに当該資金の借入申込みを行ったもので、償還した元金額が120万円に達するまでの償還利子を助成する。 | 県補助 | [概算コスト] 1,099 (内訳) ・決算額 148 ・人件費 951 (0.12人) | [概算コスト] 1,130 (内訳) ・決算額 188 ・人件費 942 (0.12人) | [概算コスト] 1,094 (内訳) ・決算額 161 ・人件費 933 (0.12人) | [概算コスト] 973 (内訳) ・予算額 44 ・人件費 929 (0.12人) | 補助対象者 (単位:人) | [目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0% | [目標値] 11 [実績値] 11 <達成率> 100.0% | [目標値] 10 [実績値] 10 <達成率> 100.0% | [目標値] 7 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | 補助額 (単位:円) | [目標値] 164,580 [実績値] 164,580 <達成率> 100.0% | [目標値] 206,775 [実績値] 206,775 <達成率> 100.0% | [目標値] 191,490 [実績値] 191,490 <達成率> 100.0% | [目標値] 43,140 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | G | G | 終了 (理由) 雇用情勢の悪化を受け、失業者世帯の生活支援のため、実施してきたが、平成26年度で利子補充の対象期間が終了することから、本事業も終了とする。 |
| 12 | 民生委員児童委員指導事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和23年度 【概要】 民生委員・児童委員の選考を行うとともに、委員の資質向上及び幅広い知識の習得のための指導を行い、委員活動の充実を図る。 【対象者】 民生委員・児童委員 【具体的な活動内容】 ・民生委員・児童委員の委嘱に関する事務 ・民生委員・児童委員の研修に関する事務 ・民生委員・児童委員の弔意に関する事務 | 市単 | [概算コスト] 7,295 (内訳) ・決算額 3,492 ・人件費 3,803 (0.48人) | [概算コスト] 6,432 (内訳) ・決算額 2,664 ・人件費 3,768 (0.48人) | [概算コスト] 6,596 (内訳) ・決算額 2,864 ・人件費 3,732 (0.48人) | [概算コスト] 7,464 (内訳) ・予算額 3,748 ・人件費 3,716 (0.48人) | 研修会実施回数 (単位:回) | [目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | 研修会参加者数 (単位:人) | [目標値] 1,080 [実績値] 1,089 <達成率> 100.8% | [目標値] 1,089 [実績値] 1,101 <達成率> 101.1% | [目標値] 1,101 [実績値] 1,301 <達成率> 118.2% | [目標値] 1,301 [実績値] <実績値> <達成率> <達成率> | A | A | 継続 (理由) 研修会の開催等により、民生委員・児童委員の活動に必要な知識の習得と資質向上に寄与しており、必要な事業である。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | | |
|-----|-------------------|----------------|-------|--|-----|---|---|---|---|-----------------------------------|--|--|---|--|---------------------------|---|---|---|---|---|------|--|------------------------------|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 | |
| 13 | 民生委員児童委員活動促進事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和23年度 【概要】 民生委員・児童委員は、地域住民の相談に応じ、助言その他の援助を行うとともに、各種調査及び情報の提供など本市福祉行政への活動を行っており、その活動・運営に必要な費用を交付する。 【対象者】 民生委員・児童委員、地区民生委員児童委員協議会 【具体的な活動内容】 ・地区民児協研修助成金、地区民児協会長交通費交付金、民生委員児童委員調査活動費交付金、地区民児協運営費交付金、地区民児協会長活動費交付金 | 市単 | [概算コスト] 184,849 (内訳) ・決算額 181,046 ・人件費 3,803 (0.48人) | [概算コスト] 185,137 (内訳) ・決算額 181,369 ・人件費 3,768 (0.48人) | [概算コスト] 186,026 (内訳) ・予算額 182,294 ・人件費 3,732 (0.48人) | [概算コスト] 187,467 (内訳) ・予算額 183,735 ・人件費 3,732 (0.48人) | 民生委員・児童委員調査活動費交付人数 (単位:人) | [目標値] 1,041 [実績値] 1,036 <達成率> 99.5% | [目標値] 1,041 [実績値] 1,038 <達成率> 99.7% | [目標値] 1,050 [実績値] 1,046 <達成率> 99.6% | [目標値] 1,050 [実績値] 1,046 <達成率> 99.6% | 活動日数 (単位:日) | [目標値] 182,628 [実績値] 184,726 <達成率> 101.1% | [目標値] 184,726 [実績値] 187,930 <達成率> 101.7% | [目標値] 187,930 [実績値] 189,177 <達成率> 100.7% | [目標値] 189,177 [実績値] 189,177 <達成率> 100.7% | A | A | 継続 (理由) 民生委員・児童委員の各種調査活動や相談業務は地域福祉活動の基礎となっており、その活動に要する経費の助成は必要である。 | |
| 14 | 市民児協事務局運営費助成事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成13年度 【概要】 民生委員・児童委員が、相互の連帯及び地区民生委員児童委員協議会の連携と委員活動の充実を図ることを目的として組織している市民児協事務局に対して、事務局運営に必要な費用を助成する。 【対象者】 鹿児島市民生委員児童委員協議会 【具体的な活動内容】 ・市民児協が行う事務局運営等に要する経費の補助 | 市単 | [概算コスト] 14,419 (内訳) ・決算額 12,517 ・人件費 1,902 (0.24人) | [概算コスト] 13,901 (内訳) ・決算額 12,017 ・人件費 1,884 (0.24人) | [概算コスト] 14,245 (内訳) ・決算額 12,379 ・人件費 1,866 (0.24人) | [概算コスト] 14,277 (内訳) ・予算額 12,419 ・人件費 1,858 (0.24人) | 運営費助成金交付件数 (単位:件) | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | [目標値] 1 [実績値] 1 <達成率> 100.0% | 地区会長会・役員会等の開催回数 (単位:回) | [目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0% | [目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0% | [目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0% | [目標値] 57 [実績値] 57 <達成率> 100.0% | A | A | 継続 (理由) 民生委員・児童委員の各種活動を促進するため、協議会の活動は必要であることから、その運営経費の補助は必要である。 | |
| 15 | ホームレス巡回相談指導事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 相談 | ○事業開始年度 平成20年度 【概要】 ホームレス又はホームレスとなるおそれのある者に対し、巡回相談による相談活動を行うとともに、支援団体等と情報交換を行い、これらの方々を抱える問題を把握し、必要な支援が受けられるようにすることにより、その自立を支援する。 【対象者】 ホームレスまたはホームレスとなるおそれのある者 【具体的な事業内容】 ・巡回相談 ・ホームレス健診に併せ福祉相談の実施 ・ホームレスの実態に関する全国調査 | 県補助 | [概算コスト] 2,664 (内訳) ・決算額 1,238 ・人件費 1,426 (0.18人) | [概算コスト] 2,642 (内訳) ・決算額 1,229 ・人件費 1,413 (0.18人) | [概算コスト] 2,616 (内訳) ・決算額 1,216 ・人件費 1,400 (0.18人) | [概算コスト] 2,627 (内訳) ・予算額 1,234 ・人件費 1,393 (0.18人) | 巡回相談実施日数 (単位:日) | [目標値] 46 [実績値] 47 <達成率> 102.2% | [目標値] 46 [実績値] 60 <達成率> 130.4% | [目標値] 46 [実績値] 58 <達成率> 126.1% | [目標値] 46 [実績値] 58 <達成率> 126.1% | 巡回相談件数 (単位:件) | [目標値] 100 [実績値] 133 <達成率> 133.0% | [目標値] 133 [実績値] 176 <達成率> 132.3% | [目標値] 176 [実績値] 122 <達成率> 69.3% | [目標値] 122 [実績値] 122 <達成率> 100.0% | A | A | 継続 (理由) ホームレスの自立支援と健康維持に寄与しており、必要な事業である。 | |
| 16 | 民生委員児童委員見守り活動支援事業 | 健康福祉局 地域福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成25年度 【概要】 支援が必要な地域住民の早期発見、把握のため、地域での見守り活動の周知広報や見守り活動協力事業者の拡大を図るなど、民生委員・児童委員の見守り活動を支援する。 【対象者】 民生委員・児童委員 【具体的な活動内容】 ・活動支援(訪問連絡カード作成、配布) ・地域住民への周知(チラシ作成、配布) ・地域における見守り活動協力事業者の呼びかけ | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 2,971 (内訳) ・決算額 1,727 ・人件費 1,244 (0.16人) | [概算コスト] 1,562 (内訳) ・予算額 323 ・人件費 1,239 (0.16人) | 見守り活動の協力事業者等数 (単位:件) | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] 1,043 [実績値] 1,043 <達成率> 100.0% | [目標値] 1,052 [実績値] 1,043 <達成率> 98.2% | 見守り活動件数 (単位:件) | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] 92,000 [実績値] 127,744 <達成率> 138.9% | [目標値] 127,000 [実績値] 127,744 <達成率> 100.6% | A | A | 継続 (理由) 地域住民の一人ひとりに見守りの大切さを認識してもらうとともに、地域で活動する民生委員・児童委員についての理解を深めてもらうためにも必要な事業である。 | |
| 17 | チャレンジド大賞表彰事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | その他 | ○事業開始年度 平成25年度 【概要】 様々な分野で活躍し、輝いている障害者個人や団体等を表彰し、障害者の社会参加と自立支援を促進する。 【対象者】 障害者個人や団体、障害者を積極的に支援している個人等 【具体的な活動内容】 ・社会貢献、産業就労、文化・スポーツ、サポートの4部門。障害者週間(12月3日～9日)に表彰式を開催 | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 1,567 (内訳) ・決算額 634 ・人件費 933 (0.12人) | [概算コスト] 1,234 (内訳) ・予算額 615 ・人件費 619 (0.08人) | 表彰者数 (単位:人) ※団体やチーム等も1でカウント | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] 7 [実績値] 7 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] 7 <達成率> 175.0% | 障害者の社会参加や自立支援に寄与 | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加や自立支援への効果が期待できることから必要な事業である。 | |
| 18 | ナイスハート支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 平成24年度 【概要】 障害者施設の生産物やレストラン等の販売を促進するため、関係法人等が構成する団体によるカタログ作成等に要する経費の一部助成する。 【対象者】 障害福祉サービスを行う法人等 【具体的な活動内容】 ・カタログ製作、ホームページ管理に要する経費の一部助成(補助率 3/4) | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 2,112 (内訳) ・決算額 1,170 ・人件費 942 (0.12人) | [概算コスト] 1,730 (内訳) ・決算額 1,108 ・人件費 622 (0.08人) | [概算コスト] 1,727 (内訳) ・予算額 1,108 ・人件費 619 (0.08人) | 参加事業所数 (単位:箇所) | [目標値] 28 [実績値] 24 <達成率> 85.7% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] 35 [実績値] 37 <達成率> 105.7% | [目標値] 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5% | ホームページ閲覧件数 (単位:件) | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] 277 [実績値] 277 (1ヶ月分) <達成率> 100.0% | [目標値] 3,324 [実績値] 4,878 <達成率> 146.8% | [目標値] 4,878 [実績値] 4,878 <達成率> 100.0% | A | B | 見直し (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|-------------------|-------------------------|-------|--|-------|---|---|---|---|--------------------------|--|---|---|--|----------------------------|--|---|--|--|------|------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 19 | 更生訓練費等支給事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】就労移行支援、自立訓練を受けている者に対し更生訓練費を支給するとともに、就労移行支援、就労継続支援を終了し、就職又は自営により自立する者に対し就職支度金を支給し、社会復帰の促進を図る。 【対象者】身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者等 【具体的な活動内容】 ・更生訓練費 基本単価(月の利用日数が15日以上)3,150円/月 (月の利用日数が15日未満)1,600円/月 通所費用(実費と比較し低い方) 280円/月 ・就職支度金 36,000円 | 国・県補助 | [概算コスト] 14,755 (内訳) ・決算額 9,605 ・人件費 5,150 (0.65人) | [概算コスト] 14,427 (内訳) ・決算額 9,325 ・人件費 5,102 (0.65人) | [概算コスト] 13,968 (内訳) ・決算額 8,914 ・人件費 5,054 (0.65人) | [概算コスト] 14,323 (内訳) ・予算額 9,291 ・人件費 5,032 (0.65人) | 更生訓練費の延べ支給人員 (単位:人) | [目標値] 3,192 [実績値] 3,074 <達成率> 96.3% | [目標値] 3,408 [実績値] 2,933 <達成率> 86.1% | [目標値] 2,981 [実績値] 2,857 <達成率> 95.8% | [目標値] 2,981 [実績値] 2,857 <達成率> 95.8% | 就職支度金支給人員 (単位:人) | [目標値] 16 [実績値] 14 <達成率> 87.5% | [目標値] 16 [実績値] 25 <達成率> 156.3% | [目標値] 29 [実績値] 17 <達成率> 58.6% | [目標値] 19 [実績値] 17 <達成率> 87.5% | A | D | 縮小 (理由) 障害者の社会復帰と自立促進に寄与しており必要な事業であるが、就職支度金については、国庫補助対象外となったことから、廃止するとともに、更生訓練費についても、他都市の状況等も踏まえ、制度のあり方を検討すべきである。 |
| 20 | 重度身体障害者ガソリン代等助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成12年度 【概要】重度障害者の自立促進と福祉の増進を図るため、自動車の燃料購入費用の一部を助成する。 【対象者】 ①身体障害者手帳の下肢または体幹の1級または2級の者。 ②本人が所有する車を自ら運転する者。 ③所得税を課せられていない者(生保を受けている者を除く。) 【具体的な活動内容】 ・ガソリン 40円/1ℓの年間上限180ℓ(7200円)まで ・軽油 18円/1ℓの年間上限180ℓ(3240円)まで | 市単 | [概算コスト] 768 (内訳) ・決算額 610 ・人件費 158 (0.02人) | [概算コスト] 735 (内訳) ・決算額 578 ・人件費 157 (0.02人) | [概算コスト] 757 (内訳) ・決算額 601 ・人件費 156 (0.02人) | [概算コスト] 756 (内訳) ・予算額 601 ・人件費 155 (0.02人) | 助成人数 (単位:人) | [目標値] 101 [実績値] 86 <達成率> 85.1% | [目標値] 87 [実績値] 84 <達成率> 96.6% | [目標値] 87 [実績値] 84 <達成率> 96.6% | [目標値] 84 [実績値] 84 <達成率> 96.6% | 重度心身障害者の自立促進 | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 重度障害者の自立促進に寄与しており、必要な事業である。なお、現状の評価や他都市の状況把握等を含め、障害者施策全般について、引き続き、検討すること。 |
| 21 | 友愛タクシー券交付事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成4年度 【概要】重度障害者の福祉の増進を図るため、電車、バスを利用することが困難な者に対してタクシー券を交付する。 【対象者】 ①身体障害者手帳:視覚障害1～2級、内部障害1級、体幹障害1～3級、下肢障害1～4級(4級は65歳以上) ②療育手帳:A1、A2、A ③精神障害者保健福祉手帳1級 【具体的な活動内容】 ・毎年200円券を70枚交付。ただし年度の途中で交付する場合は申請月に応じた枚数を交付。 | 市単 | [概算コスト] 84,412 (内訳) ・決算額 82,431 ・人件費 1,981 (0.25人) | [概算コスト] 86,944 (内訳) ・決算額 84,982 ・人件費 1,962 (0.25人) | [概算コスト] 86,699 (内訳) ・決算額 84,755 ・人件費 1,944 (0.25人) | [概算コスト] 88,774 (内訳) ・予算額 86,839 ・人件費 1,935 (0.25人) | 交付者数 (単位:人) | [目標値] 9,027 [実績値] 9,211 <達成率> 102.0% | [目標値] 9,723 [実績値] 9,526 <達成率> 98.0% | [目標値] 9,817 [実績値] 9,672 <達成率> 98.5% | [目標値] 10,181 [実績値] 9,672 <達成率> 95.8% | 利用枚数 (単位:枚) | [目標値] 383,641 [実績値] 395,597 <達成率> 103.1% | [目標値] 395,597 [実績値] 407,274 <達成率> 103.0% | [目標値] 407,274 [実績値] 402,238 <達成率> 98.8% | [目標値] 402,238 [実績値] 402,238 <達成率> 98.8% | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加と自立促進に寄与しており、必要な事業である。なお、現状の評価や他都市の状況把握等を含め、障害者施策全般について、引き続き、検討すること。 |
| 22 | 友愛バス交付事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和46年度 【概要】障害者の生活の利便及び社会参加を促進するため、友愛バスを交付する。 【対象者】 6歳以上で次のいずれかの方 ①1級から4級(4級は65歳以上)の身体障害者手帳所持者 ②療育手帳所持者及び精神障害者保健福祉手帳所持者 ③原爆被爆者援護法に基づく原爆被害者諸手当の受給者 【具体的な活動内容】 ・市電、バス(全社共通)、桜島フェリーを無料で利用できる友愛バス(ICカード)を障害者(児)に交付する。 | 市単 | [概算コスト] 300,343 (内訳) ・決算額 298,362 ・人件費 1,981 (0.25人) | [概算コスト] 303,457 (内訳) ・決算額 301,495 ・人件費 1,962 (0.25人) | [概算コスト] 308,255 (内訳) ・決算額 306,311 ・人件費 1,944 (0.25人) | [概算コスト] 335,714 (内訳) ・予算額 333,779 ・人件費 1,935 (0.25人) | 交付者数 (単位:人) | [目標値] 15,231 [実績値] 15,110 <達成率> 99.2% | [目標値] 15,281 [実績値] 15,752 <達成率> 103.1% | [目標値] 16,186 [実績値] 16,251 <達成率> 100.4% | [目標値] 17,070 [実績値] 16,251 <達成率> 95.2% | 利用回数 (単位:回) | [目標値] 2,913,382 [実績値] 2,858,140 <達成率> 98.1% | [目標値] 2,930,496 [実績値] 2,932,446 <達成率> 100.1% | [目標値] 3,058,024 [実績値] 3,009,641 <達成率> 98.4% | [目標値] 3,190,415 [実績値] 3,009,641 <達成率> 94.3% | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加と自立促進に寄与しており、必要な事業である。なお、現状の評価や他都市の状況把握等を含め、障害者施策全般について、引き続き、検討すること。 |
| 23 | 社会参加促進事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | その他 | ○事業開始年度 平成8年度(知的障害) 平成10年度(身体障害) 【概要】障害者の社会参加を促進するため各種事業を実施する。 【対象者】 障害者 【具体的な活動内容】 ・手話奉仕員養成、手話通訳者設置、自動車運転免許取得費費用助成・自動車改造費助成、スポーツ大会開催、手話通訳者等派遣事業等の事業を実施する。 | 国・県補助 | [概算コスト] 51,200 (内訳) ・決算額 43,277 ・人件費 7,923 (1.00人) | [概算コスト] 52,810 (内訳) ・決算額 44,961 ・人件費 7,849 (1.00人) | [概算コスト] 49,597 (内訳) ・決算額 41,821 ・人件費 7,776 (1.00人) | [概算コスト] 59,273 (内訳) ・予算額 51,532 ・人件費 7,741 (1.00人) | 登録手話通訳者・要約筆記者数 (単位:人) | [目標値] 52 [実績値] 52 <達成率> 100.0% | [目標値] 50 [実績値] 50 <達成率> 100.0% | [目標値] 51 [実績値] 51 <達成率> 100.0% | [目標値] 53 [実績値] 51 <達成率> 96.2% | 手話通訳者・要約筆記者の派遣件数 (単位:件) | [目標値] 2,640 [実績値] 2,634 <達成率> 99.8% | [目標値] 2,698 [実績値] 3,164 <達成率> 117.3% | [目標値] 2,891 [実績値] 3,091 <達成率> 106.9% | [目標値] 3,024 [実績値] 3,091 <達成率> 102.2% | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加や自立促進に寄与しており、必要な事業である。 |
| 24 | ゆうあい福祉バス運行事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | その他 | ○事業開始年度 平成9年度 【概要】障害者の社会参加の促進を図るため、障害者グループ等の要請に基づき、ゆうあい福祉バス(リフト付きバス)の運行サービスを実施する。 【対象者】 障害者団体等 【具体的な活動内容】 ・ゆうあい福祉バスの運行 | 市単 | [概算コスト] 5,631 (内訳) ・決算額 4,046 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 4,635 (内訳) ・決算額 3,065 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 5,597 (内訳) ・決算額 4,042 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 5,495 (内訳) ・予算額 3,947 ・人件費 1,548 (0.20人) | 年間運行回数 (単位:回) | [目標値] 174 [実績値] 174 <達成率> 100.0% | [目標値] 174 [実績値] 148 <達成率> 85.1% | [目標値] 174 [実績値] 180 <達成率> 103.4% | [目標値] 167 [実績値] 180 <達成率> 107.8% | 延べ利用者数 (単位:人) | [目標値] 3,154 [実績値] 3,154 <達成率> 100.0% | [目標値] 3,154 [実績値] 2,702 <達成率> 85.7% | [目標値] 3,154 [実績値] 3,423 <達成率> 108.5% | [目標値] 3,093 [実績値] 3,423 <達成率> 110.6% | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加や自立促進に寄与しており、必要な事業である。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | | | |
|-----|--------------------|-------------------------|-------|--|-------|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|------|--|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 | | |
| 25 | ゆうあい館交流事業補助事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成6年度 【概要】 市心身障害者総合福祉センター(ゆうあい館)で行われる交流事業に対して補助金を交付し、社会参加、福祉の増進に寄与する。 【対象者】 障害・疾病者 【具体的な活動内容】 ・ゆうあい館交流事業実行委員会の主催する、ゆうあい館夏まつり(8月)及びゆうあい館春まつり(3月)の開催経費に対し、補助金を交付する。 | 市単 | [概算コスト] 838 (内訳) ・決算額 600 ・人件費 238 (0.03人) | [概算コスト] 835 (内訳) ・決算額 600 ・人件費 235 (0.03人) | [概算コスト] 833 (内訳) ・決算額 600 ・人件費 233 (0.03人) | [概算コスト] 832 (内訳) ・予算額 600 ・人件費 232 (0.03人) | 事業の実施回数 (単位:回) 2 2 2 2 | [目標値] 2 2 2 2 | [目標値] 2 2 2 2 | [目標値] 2 2 2 2 | [目標値] 2 2 2 2 | 参加者数 (単位:人) 1,250 1,250 1,250 1,300 | [目標値] 1,250 1,250 1,250 1,300 | [目標値] 1,250 1,250 1,250 1,300 | [目標値] 1,250 1,250 1,250 1,300 | [目標値] 1,250 1,250 1,250 1,300 | [目標値] 1,250 1,250 1,250 1,300 | A | A | 継続 (理由) 障害者と地域の交流促進に寄与しており、必要な事業である。 なお、参加者へのアンケート実施など事業効果の把握に努めること。 | |
| 26 | 移動支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】 屋外での移動に困難のある障害者(児)に対し、外出時や外出先での支援を行い、社会参加の促進を図る。 【対象者】 身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者、障害児 【具体的な活動内容】 ・基本時間 15時間/月(個別事情に応じ追加) ・基本単価(身体介護を伴う) 4,000円/時間 (身体介護を伴わない) 1,500円/時間 ・利用者負担 5%(生保無料) | 国・県補助 | [概算コスト] 149,230 (内訳) ・決算額 144,495 ・人件費 4,735 (0.60人) | [概算コスト] 139,092 (内訳) ・決算額 134,853 ・人件費 4,239 (0.60人) | [概算コスト] 161,546 (内訳) ・決算額 157,072 ・人件費 4,474 (0.60人) | [概算コスト] 169,601 (内訳) ・予算額 164,892 ・人件費 4,709 (0.60人) | 延べ利用者数 (単位:人) 4,532 4,735 4,239 4,474 4,709 | [目標値] 4,532 4,735 4,239 4,474 4,709 | [目標値] 3,644 4,239 4,474 4,709 | [目標値] 4,280 4,474 4,474 4,709 | [目標値] 4,709 4,474 4,474 4,709 | 延べ利用時間 (単位:時間) 50,048 51,787 41,082 44,307 45,536 48,167 | [目標値] 50,048 51,787 41,082 44,307 45,536 48,167 | [目標値] 33,719 41,082 41,082 44,307 45,536 48,167 | [目標値] 44,307 45,536 45,536 48,167 48,167 48,167 | [目標値] 48,167 45,536 45,536 48,167 48,167 48,167 | [目標値] 48,167 45,536 45,536 48,167 48,167 48,167 | A | A | 継続 (理由) 障害者の社会参加の促進のため、必要な事業である。 | |
| 27 | ゆうあいガイドブック作成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 昭和34年度 【概要】 障害者やその家族に対して、各種福祉制度の概要や手続き方法等を紹介するガイドブックを作成し、障害者の在宅生活の質の向上や社会参加の促進を図る。 【対象者】 障害者、障害者の家族、関係機関、関係団体及び施設職員等 【具体的な活動内容】 ・ゆうあいガイドブックの作成及び配付(制度改正等に応じて作成) | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] 2,212 (内訳) ・決算額 956 ・人件費 1,256 (0.16人) | [概算コスト] 2,753 (内訳) ・決算額 1,509 ・人件費 1,244 (0.16人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.00人) | 配布冊数 (単位:冊) 7,000 7,000 15,000 15,000 | [目標値] 7,000 7,000 15,000 15,000 | [目標値] 7,000 7,000 15,000 15,000 | [目標値] 15,000 15,000 15,000 15,000 | [目標値] 15,000 15,000 15,000 15,000 | 福祉サービス及び各種制度の周知 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | A | B | 見直し (理由) 障害福祉サービスの制度周知・広報に寄与しており、必要な事業であるが、冊子の作成にあたっては、広告掲載や民間との協働による作成など、効率的・効果的な手法を検討すべきである。 | |
| 28 | 精神障害者小規模作業所運営費補助事業 | 健康福祉局 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成元年度 【概要】 小規模作業所の運営経費の一部を補助することにより、作業所の運営の安定化を図り、精神障害者の社会復帰を促進する。 【対象者】 小規模作業所の設置運営者 【具体的な活動内容】 次に掲げる額の合計額を助成する。 ・基準額 1日当たり利用者が5人~9人の作業所 年額4,186千円 1日当たり利用者が10人以上の作業所 年額5,194千円 ・介護加算 利用者のうち、療育手帳の交付を受けている者の数に143千円を乗じて得た額 ・家賃加算 補助率1/2 限度額600千円(年額) | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 4,892 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 6,630 (内訳) ・決算額 5,060 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 6,649 (内訳) ・決算額 5,094 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 7,298 (内訳) ・予算額 5,750 ・人件費 1,548 (0.20人) | 補助事業所数 (単位:箇所) 1 1 1 1 | [目標値] 1 1 1 1 | [目標値] 1 1 1 1 | [目標値] 1 1 1 1 | [目標値] 1 1 1 1 | [目標値] 1 1 1 1 | 延べ利用人員 (単位:人) 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | [目標値] 1,040 1,223 1,184 1,040 1,040 1,040 | B | F | 廃止 (理由) 障害者の社会復帰に寄与しているが、対象となる事業所が現在1団体しかなく、当該事業所に対しては26年度末までの法定事業所への移行を促し、当事業を廃止すべきである。 |
| 29 | ボランティア活動支援事業 | 健康福祉局 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成15年度(精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実) 昭和50年度(鹿児島市精神保健福祉会連絡協議会) 【概要】 障害者やその家族等の福祉の向上と精神障害者の社会復帰の促進を図るとともに、精神障害への社会的理解を促進する。 【対象者】 精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実、鹿児島市精神保健福祉会連絡協議会 【具体的な活動内容】 ・精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実が運営する「いこいの部屋あたら」の運営費の一部に対して、補助金を交付する。 ・鹿児島市精神保健福祉会連絡協議会が実施する交流会、研修、講座、相談対応などの事業に対し補助金を交付する。 | 国・県補助 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 530 ・人件費 475 (0.06人) | [概算コスト] 1,001 (内訳) ・決算額 530 ・人件費 471 (0.06人) | [概算コスト] 997 (内訳) ・決算額 530 ・人件費 467 (0.06人) | [概算コスト] 994 (内訳) ・予算額 530 ・人件費 464 (0.06人) | いこいの場開所日数 (単位:日) 120 115 116 116 | [目標値] 120 115 116 116 | [目標値] 120 116 116 116 | [目標値] 120 116 116 116 | [目標値] 120 116 116 116 | [目標値] 120 116 116 116 | いこいの場延べ利用者数 (単位:人) 1,827 1,550 1,657 1,529 1,594 | [目標値] 1,827 1,550 1,657 1,529 1,594 | [目標値] 1,657 1,557 1,677 1,677 1,677 | [目標値] 1,529 1,677 1,677 1,677 1,677 | [目標値] 1,594 1,677 1,677 1,677 1,677 | [目標値] 1,594 1,677 1,677 1,677 1,677 | A | B | 見直し (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |
| 30 | 精神障害者ふれあい交流事業 | 健康福祉局 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成15年度 【概要】 精神障害者の地域社会への積極的な参加を促進するため、スポーツ、レクリエーション、文化活動等の機会の充実を図る。 【対象者】 全市民 【具体的な活動内容】 ・心で描く絵画展、ふれあい交流会、ふれあいスポーツ交流会の開催 | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 109 ・人件費 475 (0.06人) | [概算コスト] 579 (内訳) ・決算額 108 ・人件費 471 (0.06人) | [概算コスト] 574 (内訳) ・決算額 107 ・人件費 467 (0.06人) | [概算コスト] 576 (内訳) ・予算額 112 ・人件費 464 (0.06人) | 開催回数 (単位:回) 3 3 3 3 | [目標値] 3 3 3 3 | [目標値] 3 3 3 3 | [目標値] 3 3 3 3 | [目標値] 3 3 3 3 | [目標値] 3 3 3 3 | 来所者・参加者数 (単位:人) 2,110 1,978 2,181 1,963 2,083 2,047 | [目標値] 2,110 1,978 2,181 1,963 2,083 2,047 | [目標値] 2,181 1,963 2,083 2,047 2,047 2,047 | [目標値] 2,083 1,963 2,047 2,047 2,047 2,047 | [目標値] 2,047 2,047 2,047 2,047 2,047 2,047 | [目標値] 2,047 2,047 2,047 2,047 2,047 2,047 | A | B | 見直し (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|--------------------|-------------------------|-------|---|-------|--|--|--|--|--------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|------|------|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 31 | 訪問入浴事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和49年度 【概要】 心身障害者の保健衛生の向上及びその家族の身体的・精神的な負担の軽減を図るため、重度の心身障害者で、家族の介助だけで入浴することができない者に対し、移動浴槽車を定期的に派遣し、自宅で入浴サービスを行う。 【対象者】 身体障害者手帳1級又は2級の者又は知能指数35以下の者 【具体的な活動内容】 ・1人1ヶ月につき、6回以内の範囲で訪問入浴サービスを行う。 | 国・県補助 | [概算コスト] 44,216 (内訳) ・決算額 42,631 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 46,080 (内訳) ・決算額 44,510 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 45,993 (内訳) ・決算額 44,438 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 48,505 (内訳) ・予算額 46,957 ・人件費 1,548 (0.20人) | 利用者数 (単位:人) | [目標値] 68 | [目標値] 73 | [目標値] 73 | [目標値] 71 | 利用件数 (単位:件) | [目標値] 3,243 | [目標値] 4,140 | [目標値] 3,845 | [目標値] 3,758 | A | A | 継続 (理由) 重度障害者の保健衛生の向上と家族の負担軽減を図るために必要な事業である。 |
| 32 | 重度身体障害者理髪・美容サービス事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成6年度 【概要】 身体障害者の福祉の増進に寄与するため、外出困難な重度身体障害者の自宅に理容業者等を派遣し、理髪又は美容サービスを行う。 【対象者】 在宅の外出困難な重度身体障害者(肢体不自由1級・視覚障害1級) 【具体的な活動内容】 ・年間3回の利用券を交付 | 市単 | [概算コスト] 1,508 (内訳) ・決算額 716 ・人件費 792 (0.10人) | [概算コスト] 1,701 (内訳) ・決算額 916 ・人件費 785 (0.10人) | [概算コスト] 1,586 (内訳) ・決算額 808 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 1,569 (内訳) ・予算額 795 ・人件費 774 (0.10人) | 利用者数 (単位:人) | [目標値] 71 | [目標値] 74 | [目標値] 87 | [目標値] 76 | 利用件数 (単位:件) | [目標値] 180 | [目標値] 179 | [目標値] 229 | [目標値] 193 | A | A | 継続 (理由) 重度障害者の保健衛生の向上と家族の負担軽減を図るために必要な事業である。 |
| 33 | 寝具乾燥事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和54年度 【概要】 身体障害者の福祉の向上を図るため、介護を必要とする状態が6カ月以上継続している寝たきりの身体障害者の自宅に業者等を派遣し、寝具の洗濯、消毒及び乾燥を行う。 【対象者】 在宅の65歳未満の身体障害者のうち世帯の生計中心者の前年の所得税が非課税の者 【具体的な活動内容】 ・年間3回の利用券を交付 | 市単 | [概算コスト] 848 (内訳) ・決算額 56 ・人件費 792 (0.10人) | [概算コスト] 814 (内訳) ・決算額 29 ・人件費 785 (0.10人) | [概算コスト] 823 (内訳) ・決算額 45 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 823 (内訳) ・予算額 49 ・人件費 774 (0.10人) | 利用者数 (単位:人) | [目標値] 7 | [目標値] 8 | [目標値] 5 | [目標値] 8 | 利用件数 (単位:件) | [目標値] 16 | [目標値] 19 | [目標値] 16 | [目標値] 16 | A | C | 統合 (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |
| 34 | 障害福祉サービス給付事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】 障害者の福祉の増進に寄与するため、障害者総合支援法に基づき、障害者(児)に居宅介護、生活介護などの障害福祉サービス等を提供する。 【対象者】 身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病患者等 【具体的な活動内容】 給付内容 ・[介護給付]居宅介護、生活介護、施設入所支援等 ・[訓練等給付]自立訓練、就労継続支援等 ・[その他]特定障害者特別給付、計画相談支援給付、療養介護医療費等 | 国・県補助 | [概算コスト] 7,530,950 (内訳) ・決算額 7,492,127 ・人件費 38,823 (4.90人) | [概算コスト] 8,708,703 (内訳) ・決算額 8,670,243 ・人件費 38,460 (4.90人) | [概算コスト] 9,644,723 (内訳) ・決算額 9,606,621 ・人件費 38,102 (4.90人) | [概算コスト] 9,736,774 (内訳) ・予算額 9,698,843 ・人件費 37,931 (4.90人) | 延べ支給決定者数 (単位:人) | [目標値] 87,929 | [目標値] 94,181 | [目標値] 124,709 | [目標値] 133,312 | 延べ利用者数 (単位:人) | [目標値] 61,906 | [目標値] 64,497 | [目標値] 70,957 | [目標値] 75,852 | A | A | 継続 (理由) 障害者の自立支援に寄与しており、必要な事業である。 |
| 35 | 障害児通所等支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成24年度 【概要】 障害児に対する療育として、児童発達支援や放課後等デイサービス等を実施し、日常生活における基本的な動作の指導、生活能力の向上のために必要な訓練等を行う。 【対象者】 未就学の障害児、就学している障害児 【具体的な活動内容】 ・給付費の支給 | 国・県補助 | [概算コスト] 867,163 (内訳) ・決算額 832,627 ・人件費 34,536 (4.40人) | [概算コスト] 1,567,181 (内訳) ・決算額 1,532,967 ・人件費 34,214 (4.40人) | [概算コスト] 2,069,965 (内訳) ・決算額 2,035,905 ・人件費 34,060 (4.40人) | [概算コスト] 2,069,965 (内訳) ・予算額 2,035,905 ・人件費 34,060 (4.40人) | 延べ支給決定者数 (単位:人) | [目標値] 15,224 | [目標値] 22,324 | [目標値] 29,155 | [目標値] 29,155 | 延べ利用者数 (単位:人) | [目標値] 11,682 | [目標値] 21,671 | [目標値] 28,303 | [目標値] 28,303 | A | A | 継続 (理由) ※市民委員会評価報告書参照 |
| 36 | 障害児通所支援利用者負担軽減事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成24年度 【概要】 障害児通所等支援の利用者に対し、市独自の負担軽減を図り、利用を促進するため、利用者負担額を無料とする。 【対象者】 障害児通所支援の利用者 【具体的な活動内容】 ・利用者負担額については、利用者負担なし | 県補助 | [概算コスト] 41,857 (内訳) ・決算額 41,779 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 61,968 (内訳) ・決算額 61,890 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 72,216 (内訳) ・決算額 72,139 ・人件費 77 (0.01人) | [概算コスト] 72,216 (内訳) ・予算額 72,139 ・人件費 77 (0.01人) | 延べ支給決定者数 (単位:人) | [目標値] 15,224 | [目標値] 22,324 | [目標値] 29,155 | [目標値] 29,155 | 延べ利用者数 (単位:人) | [目標値] 11,682 | [目標値] 21,671 | [目標値] 28,303 | [目標値] 28,303 | A | A | 継続 (理由) 障害児や発達障害の疑いのある児童への早期の療育に寄与しており、必要な事業である。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 |
|-----|------------------------|-------------------------|-------|--|-------|---|---|---|---|---|--|--|--|--|--|---|--|--------|--|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | |
| 37 | 身体障害者福祉電話設置事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成5年度 【概要】 重度身体障害者のコミュニケーション及び緊急連絡の手段を確保し、福祉の増進を図るため、福祉電話を貸与し、また、貸与者に代わりNTTに電話基本料金を支払う。 【対象者】 聴覚障害者又は外出困難な重度身体障害者(身体障害者1・2級) 【具体的な活動内容】 ・電話基本料金の支払い | 市単 | [概算コスト] 2,662 (内訳) ・決算額 2,270 ・人件費 392 (0.05人) | [概算コスト] 2,419 (内訳) ・決算額 2,030 ・人件費 389 (0.05人) | [概算コスト] 2,393 (内訳) ・決算額 2,006 ・人件費 387 (0.05人) | [概算コスト] 2,675 (内訳) ・予算額 2,288 ・人件費 387 (0.05人) | 設置台数 (単位:台) 94 [実績値] 102 達成率 108.5% | [目標値] 94 [実績値] 94 達成率 100.0% | [目標値] 94 [実績値] 96 達成率 102.1% | [目標値] 98 [実績値] 96 達成率 102.1% | 聴覚障害者及び重度障害者の福祉の増進 [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | A | B | 見直し (理由) ※市民委員会評価報告書参照 | |
| 38 | 地域活動支援センター事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】 在宅の障害者(児)の方々が通い、創作的活動又は生産活動の提供、社会との交流の促進等の便宜を図る。 【対象者】身体障害、知的障害、精神障害、難病患者(児) 【具体的な活動内容】 (Ⅰ型) ・精神保健福祉士等の専門職員による社会適応訓練の実施等 (Ⅱ・Ⅲ型) ・紙細工、手芸等の創作的活動及び菓子作り、喫茶活動等の生産活動の機会の提供等 ・入浴、送迎サービスの提供 | 国・県補助 | [概算コスト] 160,104 (内訳) ・決算額 158,999 ・人件費 1,105 (0.45人) | [概算コスト] 191,299 (内訳) ・決算額 190,268 ・人件費 1,031 (0.45人) | [概算コスト] 201,130 (内訳) ・決算額 197,631 ・人件費 3,499 (0.45人) | [概算コスト] 201,114 (内訳) ・予算額 197,631 ・人件費 3,483 (0.45人) | 市内事業所数 (単位:箇所) 11 [実績値] 12 達成率 109.1% | [目標値] 13 [実績値] 13 達成率 100.0% | [目標値] 13 [実績値] 15 達成率 115.4% | [目標値] 15 [実績値] 15 達成率 100.0% | 延べ利用者数 (単位:人) 56,594 [実績値] 56,277 達成率 99.4% | [目標値] 67,390 [実績値] 59,976 達成率 89.0% | [目標値] 62,788 [実績値] 61,542 達成率 98.0% | [目標値] 61,542 [実績値] 61,542 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 創作活動を通じた障害者の交流促進と自立支援に寄与しており、必要な事業である。 |
| 39 | 福祉ホーム事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成10年度 【概要】 障害のため、家庭において日常生活を営むのに支障のある障害者に対し、低額な料金で日常生活に適するよう居室、その他の設備を利用させるとともに、日常生活に必要な便宜を供与する福祉ホームの運営に必要な経費の一部を助成する。 【対象者】自立ホームゆめの里・福祉ホームしろやま・マイホームむぎのめの里・大神ハイツB・福祉ホームたいようの森・こかげの里 【具体的な活動内容】 ・福祉ホームの運営に対する補助 入居者1人当たりの月額 定員が10人~19人の場合 3,833千円÷定員数÷12月 など | 国・県補助 | [概算コスト] 12,222 (内訳) ・決算額 10,637 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 10,753 (内訳) ・決算額 9,183 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 11,674 (内訳) ・決算額 10,119 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 14,725 (内訳) ・予算額 13,177 ・人件費 1,548 (0.20人) | 補助対象施設数 (単位:箇所) 6 [実績値] 6 達成率 100.0% | [目標値] 5 [実績値] 5 達成率 100.0% | [目標値] 6 [実績値] 6 達成率 100.0% | [目標値] 38 [実績値] 40 達成率 105.3% | 利用者数 (単位:人) 34 [実績値] 34 達成率 100.0% | [目標値] 31 [実績値] 31 達成率 100.0% | [目標値] 38 [実績値] 40 達成率 105.3% | [目標値] 40 [実績値] 40 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 障害者の日常生活に必要な経費の助成と自立支援に寄与しており、必要な事業である。 |
| 40 | 在宅人工呼吸器・酸素濃縮器使用電気料助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成13年度 【概要】 障害者の生活の安定と福祉の向上を図るため、在宅で常時、人工呼吸器等を使用している障害者に対して、これらの機器に係る電気料金の一部を助成する。 【対象者】 在宅で常時、人工呼吸器等を使用している身体障害者手帳所持者のうち、呼吸器機能障害の程度が1級又は3級で、生計中心者の前年の所得税が非課税の者 【具体的な活動内容】 ・1ヶ月2,000円の助成 | 市単 | [概算コスト] 2,426 (内訳) ・決算額 1,634 ・人件費 792 (0.10人) | [概算コスト] 2,533 (内訳) ・決算額 1,748 ・人件費 785 (0.10人) | [概算コスト] 2,702 (内訳) ・決算額 1,924 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 2,404 (内訳) ・予算額 1,630 ・人件費 774 (0.10人) | 助成人数 (単位:人) 91 [実績値] 85 達成率 93.4% | [目標値] 85 [実績値] 98 達成率 115.3% | [目標値] 98 [実績値] 102 達成率 104.1% | [目標値] 102 [実績値] 102 達成率 100.0% | 助成件数 (単位:件) 840 [実績値] 817 達成率 97.3% | [目標値] 817 [実績値] 874 達成率 107.0% | [目標値] 874 [実績値] 962 達成率 110.1% | [目標値] 815 [実績値] 815 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 対象者の居宅生活に必要な不可欠なものであり、対象者の生活支援と自立促進を図るために必要な事業である。 |
| 41 | ひとり暮らし障害者等安心通報システム設置事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成25年度 【概要】 重度身体障害者等の生活の安全を確保するとともに、障害者の不安を解消するため、ひとり暮らし障害者安心通報システムを設置し、通報やセンサー異常の際に、警備会社の安否確認や救急車の出動要請を行う。 【対象者】 ①65歳未満のひとり暮らしの重度身体障害者(1・2級) ②65歳未満の重度身体障害者(1・2級)のみの世帯 ③②と同程度の世帯 【具体的な活動内容】 ・システムの設置、保守点検、修繕、移設、撤去等 ・利用者からの緊急通報受信時、センサー等の異常感知時の対応 | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 | [概算コスト] 1,626 (内訳) ・決算額 848 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 2,796 (内訳) ・予算額 2,022 ・人件費 774 (0.10人) | 設置台数 (単位:台) (実績値) 25 達成率 35.7% | [目標値] [実績値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] [実績値] 達成率 | [目標値] 70 [実績値] 25 達成率 35.7% | [目標値] 57 [実績値] 25 達成率 43.9% | 在宅の一人暮らし重度心身障害者の生活の安全確保と不安解消 [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | A | B | 見直し (理由) 在宅の一人暮らしの重度身体障害者の在宅での生活に必要な事業であるが、システムの利用者が少ないことから、旧システムからの早期移行を促進し、より多くの利用が図られるよう広報周知策を含め工夫すべきである。 |
| 42 | 市民福祉手当支給事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和45年度 【概要】 重度障害者(児)の福祉の増進を図るため、年額24,000円の手当を支給する。 【対象者】 ①基準日時点において、本市に引き続き1年以上居住している者 ②身体障害者手帳1・2級、療育手帳A1、A2、B1、精神障害者保健福祉手帳1・2級又はこれに準ずる者 【具体的な活動内容】 ・年額24,000円の手当を支給する。 | 市単 | [概算コスト] 359,830 (内訳) ・決算額 357,453 ・人件費 2,377 (0.30人) | [概算コスト] 355,331 (内訳) ・決算額 352,976 ・人件費 2,355 (0.30人) | [概算コスト] 361,925 (内訳) ・決算額 359,592 ・人件費 2,333 (0.30人) | [概算コスト] 358,134 (内訳) ・予算額 355,812 ・人件費 2,322 (0.30人) | 交付人数 (単位:人) 14,615 [実績値] 14,817 達成率 101.4% | [目標値] 14,615 [実績値] 14,630 達成率 100.1% | [目標値] 14,745 [実績値] 14,984 達成率 101.6% | [目標値] 14,739 [実績値] 14,984 達成率 101.6% | 重度身体障害者(児)の福祉増進 [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | [目標値] [目標値] [目標値] [目標値] | [実績値] [実績値] [実績値] 達成率 達成率 達成率 | A | A | 継続 (理由) 重度身体障害者ならびに重度障害児の福祉の増進を図るために必要である。 なお、現状の評価や他都市の状況把握等を含め、障害者施策全般について、引き続き、検討すること。 | |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 |
|-----|--------------|-------------------------|-------|---|-------|---|---|---|---|---|---|--|--------------|--|---|---|------------------------------------|--------|--------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | |
| 43 | 特別障害者手当等支給事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和61年度 【概要】在宅の重度障害者(児)に対し、精神的・物質的な負担の軽減を図る一助として手当を支給することにより、障害者(児)の福祉の増進を図る。 【対象者】常時特別の介護を要する重度障害・疾病者 【具体的な活動内容】 ・日常生活において常時特別の介護(常時の介護)を必要とする重度心身障害者(児)に手当を支給する。 ・特別障害者手当:月額26,000円 ・障害児福祉手当:月額14,140円 ・経過福祉手当:月額14,140円 | 国補助 | [概算コスト] 259,263 (内訳) ・決算額 257,282 ・人件費 1,981 (0.25人) | [概算コスト] 261,007 (内訳) ・決算額 257,867 ・人件費 3,140 (0.40人) | [概算コスト] 267,493 (内訳) ・決算額 264,383 ・人件費 3,110 (0.40人) | [概算コスト] 267,817 (内訳) ・予算額 264,721 ・人件費 3,096 (0.40人) | 受給者数 (単位:人) 12,167 [実績値] 11,919 <達成率> 98.0% | [目標値] 12,101 [実績値] 11,996 <達成率> 99.1% | [目標値] 11,986 [実績値] 12,355 <達成率> 103.1% | [目標値] 12,331 | 障害者の福祉の増進 [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 常時介護を必要とする障害者(児)の福祉の増進や、著しく重度の障害によって生じる特別な負担の軽減を図れるものであるため、必要な事業である。 |
| 44 | 生活サポート事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】介護給付支給決定者以外の者について、日常生活に関する支援、家事(買物、掃除、調理、洗濯等)に対する必要な支援を行い、障害者の地域での自立した生活の推進を図る。 【対象者】障害支援区分が非該当と認定された者のうち、18年9月までに障害者自立支援法に基づく家事援助サービスの支給決定を受けていた者でかつ利用実績のあった者 【具体的な活動内容】 ・利用上限時間 10時間/月 基準単価 800円/30分 ・利用者負担 1割(生保・非課税世帯は無料) | 国・県補助 | [概算コスト] 79 (内訳) ・決算額 79 (0.01人) | [概算コスト] 78 (内訳) ・決算額 78 (0.01人) | [概算コスト] 78 (内訳) ・決算額 78 (0.01人) | [概算コスト] 547 (内訳) ・予算額 160 ・人件費 387 (0.05人) | 実利用者数 (単位:人) 3 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 2 | 利用時間 (単位:時間) 346 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 110 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 110 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | [目標値] 110 [実績値] 0 <達成率> 0.0% | F | F | 廃止 (理由) 平成23年度以降実績がなく、現在把握している対象者はすべて介護保険を受給中であることから、今後当該事業の利用は考えにくく、また、平成26年度から国庫補助の対象外とされていることから廃止する。 |
| 45 | 日中一時支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】障害者(児)を介護する者が疾病等の理由により居宅における介護ができない場合に、一時的に施設で預かり、必要な保護を行う日帰りのショートステイを行うことで介護者の負担軽減につなげる。 【対象者】身体障害者、知的障害者、精神障害者、障害児、難病患者等 【具体的な活動内容】 ・基本時間 30時間/月(個別事情に応じ追加) ・基準単価 一般600円/時間、医療型800円/時間 ・利用者負担 基準単価の5%(生保、非課税世帯無料) | 国・県補助 | [概算コスト] 74,203 (内訳) ・決算額 71,271 ・人件費 2,932 (0.37人) | [概算コスト] 64,695 (内訳) ・決算額 61,791 ・人件費 2,904 (0.37人) | [概算コスト] 64,103 (内訳) ・決算額 61,226 ・人件費 2,877 (0.37人) | [概算コスト] 62,628 (内訳) ・予算額 59,764 ・人件費 2,864 (0.37人) | 延べ利用者数 (単位:人) 4,486 [実績値] 4,423 <達成率> 98.6% | [目標値] 4,559 [実績値] 4,699 <達成率> 103.1% | [目標値] 5,181 [実績値] 4,948 <達成率> 95.5% | [目標値] 4,697 | 延べ利用時間 (単位:時間) 132,140 [実績値] 122,931 <達成率> 93.0% | [目標値] 135,228 [実績値] 106,202 <達成率> 78.5% | [目標値] 117,094 [実績値] 104,326 <達成率> 89.1% | [目標値] 102,341 | A | A | 継続 (理由) 介護者の負担軽減と障害者の自立支援に寄与しており、必要な事業である。 |
| 46 | 補装具費支給事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和25年度 【概要】身体障害者手帳に記載された障害(部位)について、損なわれた身体機能を代替・補完し、かつ長期的にわたり継続して使用するための補装具を購入・修理するための費用を支給する。(原則として自己負担1割※18歳未満の障害児0.5割) 【対象者】身体障害者手帳所持者及び障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律施行令第1条に規定する特殊の疾病に該当する難病患者等 【具体的な活動内容】 ・義肢・装具・座位保持装置・車いす等計16種目 | 国・県補助 | [概算コスト] 168,112 (内訳) ・決算額 162,566 ・人件費 5,546 (0.70人) | [概算コスト] 185,131 (内訳) ・決算額 179,637 ・人件費 5,494 (0.70人) | [概算コスト] 170,974 (内訳) ・決算額 165,531 ・人件費 5,443 (0.70人) | [概算コスト] 228,863 (内訳) ・予算額 223,444 ・人件費 5,419 (0.70人) | 交付件数 (単位:件) 2,070 [実績値] 1,777 <達成率> 85.8% | [目標値] 1,976 [実績値] 1,905 <達成率> 96.4% | [目標値] 2,191 [実績値] 1,796 <達成率> 82.0% | [目標値] 2,143 | 障害者(児)の日常生活や社会生活の向上 [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 障害者の日常生活の支援と自立促進に寄与しており、必要な事業である。 |
| 47 | 日常生活用具給付等事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和47年度 【概要】入浴補助用具等の日常生活用具を給付することにより、日常生活の便宜を図る。 【対象者】在宅の重度障害者(障害部位及び程度により給付品目が異なる) 【具体的な活動内容】 ・特殊寝台、入浴補助用具、点字図書、ストーブ装具、情報・通信支援用具など47種類 | 国・県補助 | [概算コスト] 110,285 (内訳) ・決算額 106,323 ・人件費 3,962 (0.50人) | [概算コスト] 114,980 (内訳) ・決算額 111,055 ・人件費 3,925 (0.50人) | [概算コスト] 119,698 (内訳) ・決算額 115,810 ・人件費 3,888 (0.50人) | [概算コスト] 143,749 (内訳) ・予算額 139,878 ・人件費 3,871 (0.50人) | 給付件数 (単位:件) 9,931 [実績値] 10,192 <達成率> 102.6% | [目標値] 10,826 [実績値] 10,442 <達成率> 96.5% | [目標値] 10,420 [実績値] 13,884 <達成率> 133.2% | [目標値] 13,884 | 障害者の日常生活の福祉の増進 [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 障害者の日常生活の便宜を図り、福祉の向上のため必要な事業である |
| 48 | ゆうあい訪問給食事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成12年度 【概要】障害者の健康で自立した生活の支援及び孤独感の解消を図るため、ひとり暮らしの重度身体障害者に対して定期的に食事を提供する。 【対象者】ひとり暮らしの重度身体障害者(1・2級)及び重度身体障害者だけの世帯の者で食事の調理が困難な者 【具体的な活動内容】 ・週6回以内で昼食及び夕食を提供 ・利用者負担1食400円(住民税非課税世帯・生活保護世帯は1食200円) | 市単 | [概算コスト] 23,758 (内訳) ・決算額 22,173 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 21,776 (内訳) ・決算額 20,206 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 20,869 (内訳) ・決算額 19,314 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 19,739 (内訳) ・予算額 18,191 ・人件費 1,548 (0.20人) | 利用者数 (単位:人) 139 [実績値] 119 <達成率> 85.6% | [目標値] 128 [実績値] 112 <達成率> 87.5% | [目標値] 142 [実績値] 119 <達成率> 83.8% | [目標値] 139 | 延べ配食数 (単位:件) 37,992 [実績値] 37,304 <達成率> 98.2% | [目標値] 38,154 [実績値] 33,702 <達成率> 88.3% | [目標値] 35,568 [実績値] 32,270 <達成率> 90.7% | [目標値] 30,389 | A | A | 継続 (理由) 一人暮らしの障害者世帯の生活支援と孤独感の解消等に寄与しており、必要な事業である。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 |
|-----|-----------------------|-------------------------|-------|---|-------|--|--|--|--|--|--|--|---------------|--|--|--|---------------|--------|--------|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | |
| 49 | 自立支援医療費支給事業 | 健康福祉局 障害福祉課 母子保健課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和24年度 【概要】 身体障害者の更生、健全な発育のために必要な医療費を助成する。 【対象者】 (更生)18歳以上の身体障害者手帳所持者で、医療により障害を軽減あるいは機能の維持が保たれる等の効果を期待できる者。 (育成)18歳未満の身体に障害のある児童、またはそのまま放置すると将来障害を残すと認められる疾患がある児童。 【具体的な活動内容】 ・人工透析、腎・肝移植術・心臓手術、人工関節置換術等 | 国・県補助 | [概算コスト] 949,843 (内訳) ・決算額 940,732 ・人件費 9,111 (1.15人) | [概算コスト] 991,381 (内訳) ・決算額 982,355 ・人件費 9,026 (1.15人) | [概算コスト] 1,004,436 (内訳) ・決算額 995,494 ・人件費 8,942 (1.15人) | [概算コスト] 1,004,396 (内訳) ・予算額 995,494 ・人件費 8,902 (1.15人) | 認定者数 (単位:人) 1,734 [実績値] 1,333 ＜達成率＞ 76.9% | [目標値] 1,563 [実績値] 1,361 ＜達成率＞ 87.1% | [目標値] 1,494 [実績値] 1,370 ＜達成率＞ 91.7% | [目標値] 1,370 | 支給件数 (単位:件) 10,625 [実績値] 10,125 ＜達成率＞ 95.3% | [目標値] 10,499 [実績値] 10,229 ＜達成率＞ 97.4% | [目標値] 10,167 [実績値] 11,334 ＜達成率＞ 111.5% | [目標値] 11,334 | A | A | 継続 (理由) 身体障害者の障害を除去軽減し、日常生活能力、社会生活能力等を回復または向上させるために必要な事業である。 |
| 50 | 児童発達支援事業 専門員加算等補助金 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和51年度 【概要】 児童福祉法に規定する児童発達支援の児童発達支援事業所、放課後等デイサービス、児童発達支援センターについてより質の高い訓練や指導のほか専門的な個別指導や、その家族に対するサポートを含む療育指導を行う事業所に対して、専門指導員等の経費の一部を助成し、高い質の療育を市民に提供する。 【対象者】社会福祉法人などの法人 【具体的な活動内容】 ・国の配置基準を超えて職員を配置し、療育の質の向上が図られる場合に人件費の一部を助成する。 | 市単 | [概算コスト] 116,579 (内訳) ・決算額 114,202 ・人件費 2,377 (0.30人) | [概算コスト] 143,087 (内訳) ・決算額 140,732 ・人件費 2,355 (0.30人) | [概算コスト] 207,419 (内訳) ・決算額 205,086 ・人件費 2,333 (0.30人) | [概算コスト] 233,051 (内訳) ・予算額 229,955 ・人件費 3,096 (0.40人) | 事業所数 (単位:箇所) 16 [実績値] 16 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 21 [実績値] 21 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 41 [実績値] 41 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 50 | 延べ利用回数 (単位:回) 45,000 [実績値] 45,553 ＜達成率＞ 101.2% | [目標値] 54,000 [実績値] 54,197 ＜達成率＞ 100.4% | [目標値] 121,000 [実績値] 121,188 ＜達成率＞ 100.2% | [目標値] 147,000 | A | A | 継続 (理由) 高い質の療育環境を整えることにより、障害児療育の充実に寄与していることから、必要な事業である。 |
| 51 | 重度心身障害者等 医療費助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和49年度 【概要】 重度心身障害者(児)及び重複障害者の保健の向上と福祉の増進を図るため、重度心身障害者(児)及び重複障害者に対し、保険診療により支払った医療費の自己負担額を助成する。 【対象者】 身体障害者手帳1、2級、知能指数35以下、身体障害者手帳3級所持者で、知能指数36以上50以下の方 【具体的な活動内容】 ・受給資格証の交付を受けた者が、保険診療により支払った医療費の自己負担額を後日申請に基づき償還方式により助成する。 | 県補助 | [概算コスト] 1,652,603 (内訳) ・決算額 1,640,718 ・人件費 11,885 (1.50人) | [概算コスト] 1,691,127 (内訳) ・決算額 1,679,353 ・人件費 11,774 (1.50人) | [概算コスト] 1,704,608 (内訳) ・決算額 1,692,944 ・人件費 11,664 (1.50人) | [概算コスト] 1,708,304 (内訳) ・予算額 1,696,692 ・人件費 11,612 (1.50人) | 助成人数 (単位:人) 14,963 [実績値] 14,963 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 15,011 [実績値] 15,011 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 15,220 [実績値] 15,220 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 15,220 | 助成件数 (単位:件) 267,336 [実績値] 288,282 ＜達成率＞ 107.8% | [目標値] 286,356 [実績値] 299,371 ＜達成率＞ 104.5% | [目標値] 297,264 [実績値] 310,566 ＜達成率＞ 104.5% | [目標値] 309,084 | A | A | 継続 (理由) 重度障害者の医療費負担を軽減し、保健の向上や福祉の増進を図るために必要な事業である。 |
| 52 | 重度心身障害者(児)紙おむつ等助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成8年度 【概要】 重度障害者(児)の福祉の向上及びその世帯の経済的負担の軽減を図るため、在宅又は病院等において使用する紙おむつ等の購入費(レンタル費を含む)を助成する。 【対象者】 3歳以上の身体障害者手帳1・2級の肢体不自由者又は、療育手帳のA1・A2・Aに該当する者で生計中心者の前年の所得税が非課税である者 【具体的な活動内容】 ・月額4,000円以内の助成金を3ヶ月分まとめて年4回支払う。 | 市単 | [概算コスト] 10,745 (内訳) ・決算額 9,557 ・人件費 1,188 (0.15人) | [概算コスト] 11,617 (内訳) ・決算額 10,440 ・人件費 1,177 (0.15人) | [概算コスト] 12,169 (内訳) ・決算額 11,003 ・人件費 1,166 (0.15人) | [概算コスト] 12,390 (内訳) ・予算額 11,229 ・人件費 1,161 (0.15人) | 認定者数 (単位:人) 286 [実績値] 306 ＜達成率＞ 107.0% | [目標値] 335 [実績値] 326 ＜達成率＞ 97.3% | [目標値] 318 [実績値] 335 ＜達成率＞ 105.3% | [目標値] 335 | 延べ支給件数 (単位:件) 767 [実績値] 879 ＜達成率＞ 114.6% | [目標値] 870 [実績値] 960 ＜達成率＞ 110.3% | [目標値] 905 [実績値] 985 ＜達成率＞ 108.8% | [目標値] 1,015 | A | A | 継続 (理由) 該当世帯の経済的負担の軽減や重度障害者の保健衛生の向上のために必要な事業である。 |
| 53 | 障害福祉サービス利用者負担軽減事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成19年度 【概要】 介護サービスを利用する在宅の障害者が介護保険の基準額の制約により、必要な利用料を確保できない場合のために、市独自の利用者負担軽減を図り、利用を促進するため、利用者負担額を2分の1とする。 【対象者】本市が障害福祉サービス等の利用に関し、介護給付費等の支給を決定した障害者(児)等 【具体的な活動内容】 ・障害者(児)が障害福祉サービスを利用したときに、当該利用に係る利用者負担額について2分の1の額を当該障害者等に対し助成する。 | 市単 | [概算コスト] 33,197 (内訳) ・決算額 33,118 ・人件費 79 (0.01人) | [概算コスト] 11,453 (内訳) ・決算額 11,375 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 9,423 (内訳) ・決算額 9,345 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 10,223 (内訳) ・予算額 10,146 ・人件費 77 (0.01人) | 延べ支給決定者数 (単位:人) 87,929 [実績値] 87,929 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 94,181 [実績値] 94,181 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 124,709 [実績値] 124,709 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 133,312 | 延べ利用者数 (単位:人) 61,906 [実績値] 61,520 ＜達成率＞ 99.4% | [目標値] 64,497 [実績値] 62,789 ＜達成率＞ 97.4% | [目標値] 70,957 [実績値] 70,957 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 75,852 | A | A | 継続 (理由) 対象となる障害者に必要相当のサービスの確保と自立促進に寄与しており、必要な事業である。 |
| 54 | 障害児補装具利用者負担軽減事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成19年度 【概要】 市独自の利用者負担軽減を図り、利用を促進するため、利用者負担額を2分の1とする。 【対象者】 補装具の交付・修理を受ける障害児 【具体的な活動内容】 ・障害児の補装具費の支給に際し、利用者負担額について2分の1の額を助成する。 | 市単 | [概算コスト] 1,881 (内訳) ・決算額 1,485 ・人件費 396 (0.05人) | [概算コスト] 2,339 (内訳) ・決算額 1,947 ・人件費 392 (0.05人) | [概算コスト] 1,677 (内訳) ・決算額 1,288 ・人件費 389 (0.05人) | [概算コスト] 1,687 (内訳) ・予算額 1,300 ・人件費 387 (0.05人) | 交付件数 (単位:件) 276 [実績値] 276 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 197 [実績値] 197 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 227 [実績値] 227 ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] 227 | 負担軽減による障害児の福祉増進 [実績値] [実績値] [実績値] ＜達成率＞ 100.0% | [目標値] [目標値] [目標値] | [目標値] [目標値] [目標値] | [目標値] [目標値] | A | A | 継続 (理由) 購入負担の軽減を図ることにより、障害児の福祉の増進に寄与している。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 |
|-----|-----------------|-------------------------|-------|---|-------|--|--|--|--|---|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|-----|------|---|--------|--------|------|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | |
| 55 | 難聴児補聴器購入助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成25年度 【概要】発語やコミュニケーション能力の発達を図るとともに、教育上必要な聴力の確保を図るため、本市に居住する身体障害者手帳の交付対象とならない18歳未満の軽度・中等度の難聴児に対し、補聴器購入・修理に係る費用を助成する。(購入基準額または申請額のいずれか低い方の2/3を助成) 【対象者】18歳未満で身体障害者手帳が交付されない軽度・中等度の難聴児であり、補聴器の着用が医学的見地あるいは教育上の見地から必要と認められる児童 【具体的な活動内容】 ・補聴器・追加機器(基準額については補装具支給基準に準ずる) | 県補助 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.00人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.10人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.10人) | 交付件数 (単位:件) 16 19 118.8% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 難聴児の生活支援と将来的な自立促進に寄与しており、必要な事業である。 | | | |
| 56 | 障害者基幹相談支援センター事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 相談 | ○事業開始年度 平成24年度(24年10月1日設置) 【概要】障害者(児)やその家族等からの相談に応じ、必要な支援を行うため、障害者基幹相談支援センターを設置し、必要な情報提供や助言等をワンストップで行う。 【対象者】市内に住んでいる障害者やその家族等 【具体的な活動内容】 ・障害者(児)等に係る専門的相談 ・障害者虐待防止センターの運営 ・成年後見制度利用事業の実施等 | 国・県補助 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.08人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.16人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.16人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.16人) | 相談支援センターの開所日数 (単位:日) 120 243 100.0% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 障害者や家族からの相談に応じる拠点施設としての機能を有しており、障害者福祉の向上に寄与していることから、必要な事業である。 | | | |
| 57 | 障害者相談等業務委託事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 相談 | ○事業開始年度 平成8年度 【概要】身体障害者の中から適当と認められる者、並びに主に知的障害者の保護者である者の中から適当と認められる者に対し、更生支援に関する相談等に応じる業務を委託し、障害者及びその家族が直接相談者になること(ピアカウンセリング)により、障害及び障害者の抱える問題に的確に支援・助言ができる体制づくりを図る。 【対象者】市内に居住する障害者やその家族等 【具体的な活動内容】 ・市から委託を受けた相談員が、それぞれの担当地区で更生支援に関する相談等に応じ、必要な指導助言を行う。 | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.08人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.08人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.08人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.08人) | 相談員数 (単位:人) 75 75 100.0% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) ※市民委員会評価報告書参照 | | | |
| 58 | ろうあ者福祉相談員設置事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 相談 | ○事業開始年度 昭和43年度 【概要】ろうあ者の自立促進と社会参加の促進を図るため、市内に居住する重度聴覚障害者の各種行政手続き、生活相談等に応じ、適切な助言・指導を行う。 【対象者】ろうあ者 【具体的な活動内容】 ・設置人数 ろうあ者相談員 1名 ・設置場所 本庁本館1階ろうあ者相談室 ・開所時間 月曜日から金曜日 9時15分～16時00分 | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.04人) | 相談員数 (単位:人) 1 1 100.0% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) ろうあ者の各種行政手続き、生活相談等に応じ、自立促進と社会参加の促進に寄与しており、必要な事業である。 | | | |
| 59 | 障害児(者)地域療育等支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 相談 | ○事業開始年度 平成8年度 【概要】在宅障害児(者)のライフステージに応じた地域での生活を支援するために、県が指定した支援施設の有する機能を活用し、療育・相談体制の充実を図るとともに、各種福祉サービスの提供の援助、調整等を行い、地域の在宅障害児(者)及びその家族の福祉の向上を図る。 【対象者】 ①在宅の重症心身障害児(者)、知的障害児(者)、肢体不自由児(者) ②在宅の身体障害児(者)、知的障害児(者)、発達障害児(者) 【具体的な活動内容】 ・県が施設を指定し委託契約して実施する事業に対し、本市在住者の利用実績に応じて負担金を県に支出する。 ・市がやまびこ医療福祉センターに委託し、障害児(者)・家族等からの相談に応じる | 市単 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.04人) | 指定事業所数 (単位:箇所) 9 9 100.0% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 療育・相談体制の充実により、地域の在宅障害児とその家族の福祉の向上に寄与しており、必要な事業である。 | | | |
| 60 | 成年後見制度利用支援事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成14年度 【概要】判断能力の不十分な者の保護を図るため、身寄りのない人などのための法定後見の開始の審判の申立て及び申立て費用、後見人報酬の助成等を行う。 【対象者】 障害・疾病者 【具体的な活動内容】 ・成年後見の開始の申立て ・申立て費用、後見人報酬の助成 | 国・県補助 | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.06人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.14人) | [概算コスト] (内訳) ・決算額 ・人件費 (0.04人) | [概算コスト] (内訳) ・予算額 ・人件費 (0.08人) | 審判申立件数 (単位:件) 2 1 50.0% | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | [目標値] [実績値] <達成率> | A | A | 継続 (理由) 判断能力の不十分な障害者の権利擁護に寄与するため、必要な事業である。なお、さらなる広報周知策を工夫すること。 | | | |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 |
|-----|----------------------|-------------------------|-------|--|---------|---|---|---|---|---|---|---|------------------|---|---|---|---|--------|--------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | |
| 61 | 重度身体障害者住宅改修費助成事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成9年度 【概要】 重度身体障害者の在宅での生活を支援するため、住宅改修に必要な経費を助成し、生活環境の整備を図る。 【対象者】 重度身体障害者(1,2級)又はその属する世帯の生計中心者 【具体的な活動内容】 ・住宅の浴室・トイレ・廊下の段差解消、手すりの設置や居室の改造等に要する経費を助成する。 ・1,000千円と対象経費のいずれか低いほうの額に2/3を乗じた額(上限額666千円)を助成する。 | 市単 | [概算コスト] 23,084 (内訳) ・決算額 20,707 ・人件費 2,377 (0.30人) | [概算コスト] 37,506 (内訳) ・決算額 35,151 ・人件費 2,355 (0.30人) | [概算コスト] 26,036 (内訳) ・決算額 23,703 ・人件費 2,333 (0.30人) | [概算コスト] 32,314 (内訳) ・予算額 29,992 ・人件費 2,322 (0.30人) | 助成件数 (単位:件) 59 [実績値] 47 <達成率> 79.7% | [目標値] 70 [実績値] 69 <達成率> 98.6% | [目標値] 60 [実績値] 49 <達成率> 81.7% | [目標値] 60 | 重度障害者の在宅福祉向上 [実績値] [実績値] [実績値] <達成率> <達成率> <達成率> | A | A | 継続 (理由) 重度障害者の住宅改修に必要な経費の助成により、在宅での生活支援と自立促進に寄与していることから、必要な事業である。 | | | |
| 62 | 重度身体障害者住宅リフォームヘルパー事業 | 健康福祉局 障害福祉課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成9年度 【概要】 重度身体障害者の在宅の改造を行う際に、リフォームヘルパーを派遣して相談に応じ、適切なアドバイスを行うことで、重度身体障害者の住環境の改善を図る。 【対象者】 重度身体障害者(1,2級) 【具体的な活動内容】 ・リフォームヘルパーが身体状況や家屋の状況等を踏まえた上で相談に応じ、適切な助言を行う。また、施行者その他の連絡調整を行う。 | 市単 | [概算コスト] 124 (内訳) ・決算額 45 ・人件費 79 (0.01人) | [概算コスト] 153 (内訳) ・決算額 75 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 139 (内訳) ・決算額 61 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 146 (内訳) ・予算額 69 ・人件費 77 (0.01人) | 派遣世帯数 (単位:世帯) 10 [実績値] 6 <達成率> 60.0% | [目標値] 10 [実績値] 5 <達成率> 50.0% | [目標値] 10 [実績値] 6 <達成率> 60.0% | [目標値] 9 | 派遣時間数 (単位:時間) 52 [実績値] 20 <達成率> 38.5% | [目標値] 52 [実績値] 33 <達成率> 63.5% | [目標値] 45 [実績値] 24 <達成率> 53.3% | [目標値] 27 | A | B | 見直し (理由) 重度障害者の在宅での生活支援と自立促進に寄与しているが、民間業者等でも一定の相談やアドバイスは可能であることから、他都市の状況等を踏まえ、必要性も含めた制度のあり方を検討すべきである。 |
| 63 | 精神障害者相談事業 | 健康福祉局 保健予防課 | 相談 | ○事業開始年度 平成15年度 【概要】 精神障害者の家族が、当事者又はその家族からの社会復帰等の相談に応じ、必要な助言、支援を行い、精神障害者の自立支援を図る。 【対象者】 精神障害者及びその家族 【具体的な活動内容】 ・鹿児島市精神保健福祉会連絡協議会からの推薦により適当と認められる者を精神障害者相談員として登録し、相談事業を委託する。 ・相談員を対象にした研修を実施する。 | 市単 | [概算コスト] 176 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 79 (0.01人) | [概算コスト] 178 (内訳) ・決算額 100 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 175 (内訳) ・決算額 97 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 178 (内訳) ・予算額 101 ・人件費 77 (0.01人) | 相談員数 (単位:人) 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0% | [目標値] 4 | 相談件数 (単位:件) 228 [実績値] 193 <達成率> 84.6% | [目標値] 231 [実績値] 217 <達成率> 93.9% | [目標値] 213 [実績値] 183 <達成率> 85.9% | [目標値] 197 | A | A | 継続 (理由) 精神障害者やその家族がより相談しやすい環境の整備と精神障害者の福祉の向上に寄与しており、必要な事業である。 |
| 64 | 障害者相談支援等事業 | 健康福祉局 障害福祉課 保健予防課 | 相談 | ○事業開始年度 平成18年度 【概要】 障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行うとともに、虐待の防止及びその早期発見のための関係機関との連絡調整その他の障害者等の権利擁護のために必要な援助を行う。 【対象者】 障害者全般 【具体的な活動内容】 ・委託事業所数・・・障害福祉課＝市内7箇所、保健予防課＝市内4箇所、市外6箇所 | 市単 | [概算コスト] 54,131 (内訳) ・決算額 50,962 ・人件費 3,169 (0.40人) | [概算コスト] 50,080 (内訳) ・決算額 46,940 ・人件費 3,140 (0.40人) | [概算コスト] 44,433 (内訳) ・決算額 42,878 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 46,963 (内訳) ・予算額 45,415 ・人件費 1,548 (0.20人) | 開所日数 (単位:日) 366 [実績値] 366 <達成率> 100.0% | [目標値] 365 [実績値] 365 <達成率> 100.0% | [目標値] 365 [実績値] 365 <達成率> 100.0% | [目標値] 365 | 相談件数 (単位:件) 10,219 [実績値] 11,955 <達成率> 117.0% | [目標値] 10,723 [実績値] 14,109 <達成率> 131.6% | [目標値] 11,940 [実績値] 12,610 <達成率> 105.6% | [目標値] 12,891 | A | A | 継続 (理由) 障害者の自立促進と緊急時の避難対応の確保のため、必要な事業である。 |
| 65 | 収納率向上特別対策事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 昭和59年度 【概要】 国民健康保険税の収納率向上を目指し、徴収体制等の充実・強化を図る。 【対象者】 国民健康保険納税義務者 【具体的な活動内容】 ・徴収体制の充実 ・コンビニ収納、滞納整理支援システムの運用、納税嘱託員の活用 ・滞納処分の強化 ・滞納整理事務、特別催告状、保険証更新時催告状の送付 | 特会(県補助) | [概算コスト] 62,042 (内訳) ・決算額 55,704 ・人件費 6,338 (0.80人) | [概算コスト] 64,508 (内訳) ・決算額 58,229 ・人件費 6,279 (0.80人) | [概算コスト] 76,320 (内訳) ・決算額 70,099 ・人件費 6,221 (0.80人) | [概算コスト] 79,027 (内訳) ・予算額 72,834 ・人件費 6,193 (0.80人) | コンビニ収納件数 (単位:件) 150,000 [実績値] 148,220 <達成率> 98.8% | [目標値] 151,500 [実績値] 167,700 <達成率> 110.7% | [目標値] 183,200 [実績値] 188,620 <達成率> 103.0% | [目標値] 221,400 | 現年課税分収納率 (単位:%) 87.09 [実績値] 87.10 <達成率> 100.0% | [目標値] 87.73 [実績値] 86.97 <達成率> 99.1% | [目標値] 88.37 [実績値] 87.30 <達成率> 98.8% | [目標値] 89.00 | A | B | 見直し (理由) 収納率が目標値に届いていないことから、滞納整理の取組を一層強化するとともに、減少傾向にある口座振替世帯数の増加に向けた取組も強化すべきである。 |
| 66 | 国保ヘルスアップ事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 平成22年度 【概要】 生活習慣病の予防およびその重症化を防ぐため、特定健診受診者中、特定保健指導を除いた健康課題のある者に対し、嘱託の保健師及び看護師が訪問指導等による健康指導を行う。 【対象者】 ①受診勧奨訪問指導・・・治療中とされている、血圧・血糖値・脂質の数値が受診勧奨域の者 ②未治療者訪問指導・・・受診勧奨域に該当しながら、未治療の者 ③CKD受診勧奨訪問指導・・・eGFR50未満の専門医受診が必要な者 【具体的な活動内容】 ・保健所の嘱託保健師等が一人当たり3回程度の訪問指導を行う。訪問指導後は、国保の嘱託保健師が受診行動及び治療状況をレセプト上で確認する。また、必要に応じて... | 特会(県補助) | [概算コスト] 12,755 (内訳) ・決算額 8,952 ・人件費 3,803 (0.48人) | [概算コスト] 12,049 (内訳) ・決算額 10,165 ・人件費 1,884 (0.24人) | [概算コスト] 11,159 (内訳) ・決算額 9,915 ・人件費 1,244 (0.16人) | [概算コスト] 12,477 (内訳) ・予算額 11,238 ・人件費 1,239 (0.16人) | 受診勧奨訪問指導人数 (単位:人) 438 [実績値] 426 <達成率> 97.3% | [目標値] 577 [実績値] 510 <達成率> 88.4% | [目標値] 553 [実績値] 529 <達成率> 95.7% | [目標値] 700 | 訪問面接後、適切な治療ルートに移行した人数 (単位:人) 306 [実績値] 306 <達成率> 100.0% | [目標値] 403 [実績値] 366 <達成率> 90.8% | [目標値] 529 [実績値] 493 <達成率> 93.2% | [目標値] 550 | A | A | 継続 (理由) 生活習慣病の予防及びその重症化を防ぎ、生活習慣病関連医療費の抑制を図るために必要な事業である。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|------------------|----------------|-------|--|-----------|---|---|---|---|------------------------|--|--|--|--|-------------------------------|---|--|--|--|------|------|---|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 67 | ジェネリック医薬品利用促進事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 平成23年度 【概要】ジェネリック医薬品の使用を促進し、被保険者の医療費負担の軽減等を図るため、服用した先発医薬品をジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担額の差額(削減額)などを記載したお知らせを送付する。 【対象者】次の要件を全て満たす者 ①35歳以上の者、②1人当たり、200円以上の削減効果が見込める者、③投与期間(服薬数量)7日以上 ※腫瘍用薬及び公費負担レセプトは除く 【具体的な活動内容】差額通知を送付する。 ・23年度 8,983件(2月) ・24年度 8,021件(6月)、7,657件(9月)、7,127件(12月)、7,929件(3月) ・25年度 7,420件(6月)、7,089件(9月)、6,650件(12月)、7,834件(3月) | 特会(国・県補助) | [概算コスト] 1,433 [内訳] (内訳) ・決算額 641 ・人件費 792 (0.10人) | [概算コスト] 3,004 [内訳] (内訳) ・決算額 2,219 ・人件費 785 (0.10人) | [概算コスト] 2,877 [内訳] (内訳) ・決算額 2,099 ・人件費 778 (0.10人) | [概算コスト] 3,330 [内訳] (内訳) ・決算額 2,556 ・人件費 774 (0.10人) | 通知件数 (単位:件) | [目標値] 9,000 [実績値] 8,983 達成率 99.8% | [目標値] 30,000 [実績値] 30,634 達成率 102.1% | [目標値] 30,000 [実績値] 28,993 達成率 96.6% | [目標値] 30,000 [実績値] 30,000 達成率 100.0% | ジェネリック医薬品利用率 (単位:%) | [目標値] 66.6 [実績値] 30.0 達成率 45.0% | [目標値] 66.3 [実績値] 34.7 達成率 52.3% | [目標値] 66.3 [実績値] 36.4 達成率 54.9% | [目標値] 66.3 [実績値] 66.3 達成率 100.0% | A | B | 見直し (理由) ジェネリック医薬品の使用による医療費負担の軽減等のために必要な事業であるが、さらに利用率を高められるよう、医師会等との連携も含め、より一層の利用促進に取り組むべきである。 |
| 68 | 人間ドック・脳ドック利用補助事業 | 市民局 国民健康保険課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和41年度(人間ドック) 平成8年度(脳ドック) 【概要】被保険者の疾病予防及び病気の早期発見・早期治療を促進するため、ドック利用者に対し、検査料金の一部を補助する。 【対象者】鹿児島市国民健康保険の被保険者であり、前年度の国民健康保険税を完納した世帯に属する35歳以上の者。 【具体的な活動内容】 ・人間ドック定員505名 検査料金の半額を補助 ・脳ドック定員350名 検査料金の半額で、20,000円を限度に補助 | 特会 | [概算コスト] 15,370 [内訳] (内訳) ・決算額 13,785 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 16,098 [内訳] (内訳) ・決算額 14,528 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 16,694 [内訳] (内訳) ・決算額 15,139 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 18,329 [内訳] (内訳) ・決算額 16,781 ・人件費 1,548 (0.20人) | 人間ドック受診者数 (単位:人) | [目標値] 450 [実績値] 427 達成率 94.9% | [目標値] 505 [実績値] 417 達成率 82.6% | [目標値] 505 [実績値] 481 達成率 95.2% | [目標値] 505 [実績値] 505 達成率 100.0% | 被保険者の疾病の早期発見 | [目標値] 66.6 [実績値] 30.0 達成率 45.0% | [目標値] 66.3 [実績値] 34.7 達成率 52.3% | [目標値] 66.3 [実績値] 36.4 達成率 54.9% | [目標値] 66.3 [実績値] 66.3 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 人間ドック・脳ドックの受診により、被保険者の疾病予防及び疾病の早期発見・早期治療につながることから、必要な事業である。 |
| 69 | はり、きゅう施設利用補助事業 | 市民局 国民健康保険課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和47年度 【概要】国民健康保険被保険者の健康の保持増進のため、抹消神経疾患及び運動器疾患のある被保険者が、はり又はきゅうの施術を受けたときの協定料金の一部を補助する。 【対象者】鹿児島市国民健康保険の被保険者であり、前年度の国民健康保険税を完納した世帯に属する者。 【具体的な活動内容】 ・利用券を交付し、はり、きゅうの施術料金の一部を補助する。 ・補助額 1回につき1,100円(年間60回まで。4月60回・5月55回・6月50回・7月45回・8月40回・9月35回・10月30回・11月25回・12月20回・1月15回・2月10回・3月5回) | 特会 | [概算コスト] 89,940 [内訳] (内訳) ・決算額 88,355 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 90,151 [内訳] (内訳) ・決算額 88,581 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 87,721 [内訳] (内訳) ・決算額 86,166 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 92,529 [内訳] (内訳) ・決算額 90,981 ・人件費 1,548 (0.20人) | 利用券交付者数 (単位:人) | [目標値] 5,400 [実績値] 5,691 達成率 105.4% | [目標値] 5,691 [実績値] 5,888 達成率 103.5% | [目標値] 5,691 [実績値] 5,600 達成率 98.4% | [目標値] 5,600 [実績値] 5,600 達成率 100.0% | 利用券利用回数 (単位:回) | [目標値] 73,026 [実績値] 79,705 達成率 109.1% | [目標値] 79,705 [実績値] 79,868 達成率 100.2% | [目標値] 79,705 [実績値] 77,739 達成率 97.5% | [目標値] 77,739 [実績値] 77,739 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 被保険者の健康の保持増進及び疾病の重症化予防のために必要な事業である。 |
| 70 | 診療報酬明細書点検事業 | 市民局 国民健康保険課 | 許可・検査 | ○事業開始年度 昭和56年度 【概要】医療機関から連合会を通じて請求される診療報酬明細書を嘱託員を雇用し点検を行い、医療費の適正化を図る。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・レセプト(診療報酬明細書)の内容点検、縦覧点検など ・第三者行為求償事務の一部を鹿児島県国保連合会へ委託 | 特会(県補助) | [概算コスト] 31,458 [内訳] (内訳) ・決算額 23,535 ・人件費 7,923 (1.00人) | [概算コスト] 32,796 [内訳] (内訳) ・決算額 24,947 ・人件費 7,849 (1.00人) | [概算コスト] 32,267 [内訳] (内訳) ・決算額 24,491 ・人件費 7,776 (1.00人) | [概算コスト] 34,468 [内訳] (内訳) ・決算額 26,727 ・人件費 7,741 (1.00人) | レセプト点検枚数 (単位:枚) | [目標値] 2,139,775 [実績値] 2,199,737 達成率 102.8% | [目標値] 2,199,737 [実績値] 2,228,085 達成率 101.3% | [目標値] 2,228,085 [実績値] 2,264,200 達成率 101.6% | [目標値] 2,264,200 [実績値] 2,264,200 達成率 100.0% | レセプト点検による効果額 (単位:千円) | [目標値] 384,417 [実績値] 336,413 達成率 87.5% | [目標値] 336,413 [実績値] 352,332 達成率 104.7% | [目標値] 352,332 [実績値] 358,657 達成率 101.8% | [目標値] 358,657 [実績値] 358,657 達成率 100.0% | A | B | 見直し (理由) 医療費の適正化を図るために必要な事業であるが、直営で行っているレセプト点検員による点検の効果額が減少傾向にあることから、費用対効果も含め、より効果的な点検のあり方について検討すべきである。 |
| 71 | 健康づくり推進事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 平成6年度 【概要】被保険者の健康意識の高揚、疾病の予防・早期発見、多受診者への訪問指導により、将来の本市の高医療費の是正を図る。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・重複・多受診者訪問指導 ・リーフレット等による健康指導 ・保健所との連携による保健所保健師活動の支援および国保事業のPR ・慢性腎臓病(CKD)予防セミナー | 特会(県補助) | [概算コスト] 10,592 [内訳] (内訳) ・決算額 5,521 ・人件費 5,071 (0.64人) | [概算コスト] 9,235 [内訳] (内訳) ・決算額 5,467 ・人件費 3,768 (0.48人) | [概算コスト] 7,911 [内訳] (内訳) ・決算額 5,423 ・人件費 2,488 (0.32人) | [概算コスト] 8,465 [内訳] (内訳) ・決算額 5,988 ・人件費 2,477 (0.32人) | 重複・多受診訪問指導件数 (単位:件) | [目標値] 88 [実績値] 88 達成率 100.0% | [目標値] 30 [実績値] 30 達成率 100.0% | [目標値] 18 [実績値] 18 達成率 100.0% | [目標値] 30 [実績値] 30 達成率 100.0% | 受診日数の抑制(1ヶ月あたり) (単位:日) | [目標値] 3 [実績値] 3.3 達成率 110.0% | [目標値] 3 [実績値] 2.6 達成率 86.7% | [目標値] 3 [実績値] 2.8 達成率 93.3% | [目標値] 3 [実績値] 3 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 重複・多受診者への指導等を通して、被保険者の健康増進、医療費適正化を図るために必要な事業である。 |
| 72 | 医療費通知事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 昭和56年度 【概要】医療費に対する理解と関心を高め、正しい受診、健康への自覚と認識を喚起するため、医療費の通知を送付する。 【対象者】鹿児島市国民健康保険被保険者 【具体的な活動内容】 ・国保全世帯を通知対象とし、年6回(12ヶ月分)の医療費通知を行う。 | 特会(県補助) | [概算コスト] 19,792 [内訳] (内訳) ・決算額 18,207 ・人件費 1,585 (0.20人) | [概算コスト] 21,357 [内訳] (内訳) ・決算額 19,787 ・人件費 1,570 (0.20人) | [概算コスト] 23,660 [内訳] (内訳) ・決算額 22,105 ・人件費 1,555 (0.20人) | [概算コスト] 25,963 [内訳] (内訳) ・決算額 24,415 ・人件費 1,548 (0.20人) | 延べ通知世帯数 (単位:世帯) | [目標値] 370,693 [実績値] 375,891 達成率 101.4% | [目標値] 375,891 [実績値] 378,674 達成率 100.7% | [目標値] 378,674 [実績値] 382,731 達成率 101.1% | [目標値] 382,731 [実績値] 382,731 達成率 100.0% | 医療費に対する理解の高まりと、正しい受診に対する認識の喚起 | [目標値] 66.6 [実績値] 30.0 達成率 45.0% | [目標値] 66.3 [実績値] 34.7 達成率 52.3% | [目標値] 66.3 [実績値] 36.4 達成率 54.9% | [目標値] 66.3 [実績値] 66.3 達成率 100.0% | A | B | 見直し (理由) 医療費に対する理解と関心を高めるために必要な事業であるが、22年4月から医療機関の窓口で医療費の内容のわかる領収書等の交付が義務化されたことや、他都市の状況なども踏まえ、通知回数のあり方について検討すべきである。 |

4-3 きめ細かな福祉の充実

| No. | 事務事業名 | 事業実施課 | 事業区分 | 事業概要 | 財源 | 概算コスト(単位:千円) | | | | 主な活動指標 | | | | 主な成果指標 | | | | 一次評価結果 | 二次評価結果 | 評価理由 | | |
|-----|----------------------------|----------------|-------|---|-----------|--|--|--|--|----------------------------------|---|---|---|---|---------------------|---|---|---|---|------|------|--|
| | | | | | | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 指標名 | 23年度 | 24年度 | | | | 25年度 | 26年度 |
| 73 | 出産費資金貸付事業 | 市民局 国民健康保険課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 平成14年度 【概要】出産育児一時金の支給を受けることが見込まれる世帯に対し、支給を受けるまでの間、当該出産に要する費用を支払うための資金を貸し付け、経済的負担の軽減を図る。 【対象者】①出産予定日まで1ヶ月以内、②妊娠4ヶ月以上であり、当該出産に要する費用について医療機関から請求を受け、又はその費用を支払ったこと、のいずれかに該当する被保険者の属する世帯の世帯主。 【具体的な活動内容】 ・出産育児一時金支給見込額の80%を限度 420,000円×80%=336,000円 | 特会 | [概算コスト] 79 (内訳) ・決算額 ・人件費 79 (0.01人) | [概算コスト] 78 (内訳) ・決算額 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 78 (内訳) ・決算額 ・人件費 78 (0.01人) | [概算コスト] 749 (内訳) ・決算額 ・人件費 672 77 (0.01人) | 出産費資金貸付件数 (単位:件) | [目標値] 2 [実績値] 0 達成率 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 達成率 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 達成率 0.0% | [目標値] 2 [実績値] 0 達成率 0.0% | 被保険者の福祉の向上 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | F | F | 廃止 (理由) 直接支払制度等の開始により、被保険者が窓口で出産費用を全額支払う必要はなくなっており、23年度以降の実績もないことから廃止すべきである。 |
| 74 | 高額療養資金貸付事業 | 市民局 国民健康保険課 | 助成・育成 | ○事業開始年度 昭和53年度 【概要】高額な医療費を支払うことが困難な世帯主に、資金を貸し付けることで生活の安定を図る。 【対象者】鹿児島市国民健康保険の被保険者 【具体的な活動内容】 (委託内容) ・高額療養資金貸付申請用紙交付及び申請書受付事務 ・計算事務(一部負担金及び貸付対象額等の算定) ・貸付可否の決定及び貸付台帳作成事務 | 特会 | [概算コスト] 2,728 (内訳) ・決算額 1,936 (0.10人) | [概算コスト] 2,721 (内訳) ・決算額 1,936 (0.10人) | [概算コスト] 2,714 (内訳) ・決算額 1,936 (0.10人) | [概算コスト] 2,766 (内訳) ・決算額 1,992 (0.10人) | 高額療養資金延べ貸付件数 (単位:件) | [目標値] 1,600 [実績値] 1,876 達成率 117.3% | [目標値] 1,560 [実績値] 1,565 達成率 100.3% | [目標値] 1,560 [実績値] 1,549 達成率 99.3% | [目標値] 1,560 [実績値] 1,549 達成率 99.3% | 借受人の生活の安定 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | A | A | 継続 (理由) 高額な医療費を支払うことが困難な被保険者の医療機関窓口での負担軽減のために必要な事業である。 |
| 75 | 納付組合長保険委員事業 | 市民局 国民健康保険課 | その他 | ○事業開始年度 昭和44年度 【概要】国民健康保険事業を円滑に運営するため、また国民健康保険税の納付の利便を図るため、保険委員納付組合(長)を設け、保険税の徴収や納税通知書の配布を行う。 【対象者】保険委員による徴収希望の被保険者 【具体的な活動内容】 ・納付組合による保険税徴収 ・保険委員による納税通知書等の配布 | 特会 | [概算コスト] 24,100 (内訳) ・決算額 23,466 634 (0.08人) | [概算コスト] 21,703 (内訳) ・決算額 21,075 628 (0.08人) | [概算コスト] 19,050 (内訳) ・決算額 18,428 622 (0.08人) | [概算コスト] 20,570 (内訳) ・決算額 19,951 619 (0.08人) | 納付組合数 (単位:組合) | [目標値] 374 [実績値] 365 達成率 97.6% | [目標値] 365 [実績値] 351 達成率 96.2% | [目標値] 351 [実績値] 335 達成率 95.4% | [目標値] 335 [実績値] 335 達成率 99.5% | 納付組合世帯収納率 (単位:%) | [目標値] 100 [実績値] 97.8 達成率 97.8% | [目標値] 100 [実績値] 98.2 達成率 98.2% | [目標値] 100 [実績値] 98.5 達成率 98.5% | [目標値] 100 [実績値] 98.5 達成率 98.5% | A | B | 見直し (理由) 納付組合については、組合数が年々減少するとともに、加入世帯数も大幅に減少してきていることから、今後の制度のあり方について検討すべきである。 |
| 76 | 広報活動事業 | 市民局 国民健康保険課 | 啓発・広報 | ○事業開始年度 平成15年度 【概要】国民健康保険の制度の趣旨や事業内容を市民に周知し、円滑な国保運営を図る。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・広報紙「ひまわり」(年2回、5・2月)の配布 ・広報パンフレット「国保だより」(年1回)、国民健康保険事業概要(年1回)の発行 | 特会(国・県補助) | [概算コスト] 5,702 (内訳) ・決算額 4,514 1,188 (0.15人) | [概算コスト] 5,669 (内訳) ・決算額 4,492 1,177 (0.15人) | [概算コスト] 5,727 (内訳) ・決算額 4,561 1,166 (0.15人) | [概算コスト] 6,129 (内訳) ・決算額 4,968 1,161 (0.15人) | 広報紙「ひまわり」配布世帯数(1回平均) (単位:世帯) | [目標値] 274,681 [実績値] 274,681 達成率 100.0% | [目標値] 275,287 [実績値] 275,287 達成率 100.0% | [目標値] 276,211 [実績値] 276,211 達成率 100.0% | [目標値] 277,000 [実績値] 276,211 達成率 99.7% | 国民健康保険制度の趣旨普及の徹底 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | A | B | 見直し (理由) 国保制度の内容を周知・説明することは必要であるが、制度内容が多岐にわたることから、国保だよりなどのパンフレット作成に当たっては他都市の事例を参考にするなど、見やすく、わかりやすい紙面にすべきである。 |
| 77 | 国民健康保険事業特別会計に対する繰出金(保険税軽減) | 市民局 国民健康保険課 | その他 | ○事業開始年度 昭和63年度 【概要】国保被保険者の税負担の軽減を図るため、一般会計から国民健康保険事業特別会計に対する繰出しを行う。 【対象者】国民健康保険事業特別会計 【具体的な活動内容】 ・平成21年度から3,300,000千円の繰出しを行っている。 (平成20年度までは2,200,000千円) | 市単 | [概算コスト] 3,300,000 (内訳) ・決算額 3,300,000 79 (0.01人) | [概算コスト] 3,300,000 (内訳) ・決算額 3,300,000 78 (0.01人) | [概算コスト] 3,300,000 (内訳) ・決算額 3,300,000 78 (0.01人) | [概算コスト] 3,300,000 (内訳) ・決算額 3,300,000 77 (0.01人) | 保険税軽減分繰出金額 (単位:千円) | [目標値] 3,300,000 [実績値] 3,300,000 達成率 100.0% | [目標値] 3,300,000 [実績値] 3,300,000 達成率 100.0% | [目標値] 3,300,000 [実績値] 3,300,000 達成率 100.0% | [目標値] 3,300,000 [実績値] 3,300,000 達成率 100.0% | 国保被保険者の税負担の軽減 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | [目標値] [実績値] 達成率 | A | A | 継続 (理由) 国民健康保険財政の安定化及び被保険者の保険税負担の軽減を図るために必要な事業である。 |
| 78 | 被保護者就労支援事業 | 健康福祉局 保護第一課 | その他 | ○事業開始年度 平成17年度 【概要】公共職業安定所職員OB等の専門員を雇用し、専門的に就労指導等を実施することにより、被保護者の自立助長を図る。 【対象者】被保護者 【具体的な活動内容】 ・就労支援嘱託員配置(7人) 新規相談者・被保護者への就労相談・指導等 就労巡回指導及び職安・企業への同行訪問 ・介護職員初任者研修開催 被保護者への研修 | 国・県補助 | [概算コスト] 14,626 (内訳) ・決算額 12,645 1,981 (0.25人) | [概算コスト] 16,239 (内訳) ・決算額 14,277 1,962 (0.25人) | [概算コスト] 20,274 (内訳) ・決算額 18,330 1,944 (0.25人) | [概算コスト] 21,220 (内訳) ・決算額 19,285 1,935 (0.25人) | 新規相談者・被保護者への就労相談・指導等件数 (単位:件) | [目標値] 141 [実績値] 276 達成率 195.7% | [目標値] 276 [実績値] 460 達成率 166.7% | [目標値] 460 [実績値] 437 達成率 95.0% | [目標値] 437 [実績値] 235 達成率 53.8% | 就労件数 (単位:件) | [目標値] 50 [実績値] 112 達成率 224.0% | [目標値] 112 [実績値] 193 達成率 172.3% | [目標値] 193 [実績値] 235 達成率 121.8% | [目標値] 235 [実績値] 235 達成率 100.0% | A | A | 継続 (理由) 被保護者の移動能力の活用と自立促進に寄与しており、必要な事業である。 |